

**2023年3月期 第2四半期
決算説明会**

2022年 11月 9日

株式会社ジェイテクト

上期実績

売上収益は、自動車生産の回復や円安の影響等により**前年同期比増収**。
事業利益は、**材料費・物流費・エネルギー費高騰の影響が大きい中でも、売上増や円安の効果に加え、原価低減の推進により前年同期比増益**。

業績予想

売上収益は、直近の需要予測の反映に加え、為替レート的前提を更新したことにより、**1兆7,000億円へ上方修正**する。
事業利益は、地域ごとの需要変動・インフレ影響拡大による損益悪化に対し、円安効果の享受・**さらなる体質改善の推進により600億円にて据え置き**。

株主還元

2022年度の配当予想は**年間22円を据え置く**。
(**前年比+4円増配**、中間11円・期末11円、配当性向 30.2%)

1. 2023年3月期 第2四半期実績	P 4
2. 2023年3月期 通期業績予想	P 9
3. 中期経営計画達成に向けた取組み	P 1 4
4. 参考資料	P 2 7

1-1) 実績－連結損益



- 売上収益は、自動車生産の回復による需要増、および円安の効果により増収。
- 事業利益は、需要増や円安効果が材料費・物流費・エネルギー費高騰の影響等により消失するも、原価低減や固定費削減などの体質改善効果等により増益。

()内は売上収益比 単位：億円

	21/9期 実績	22/9期 実績	増減額	増減率
売上収益	6,641	8,045	+1,404	+ 21.1%
事業利益 ※1	(2.3%) 155	(2.2%) 180	+25	+ 16.4%
営業利益	(2.3%) 152	(2.3%) 188	+36	+ 23.7%
税引前利益	(2.7%) 177	(3.3%) 264	+86	+ 48.6%
当期利益 ※2	(1.0%) 67	(1.5%) 122	+54	+ 80.7%
為替レート USD	109.80円	133.97円	24.17円 円安	
EUR	130.90円	138.73円	7.83円 円安	
1株当たり当期利益	19円74銭	35円67銭		

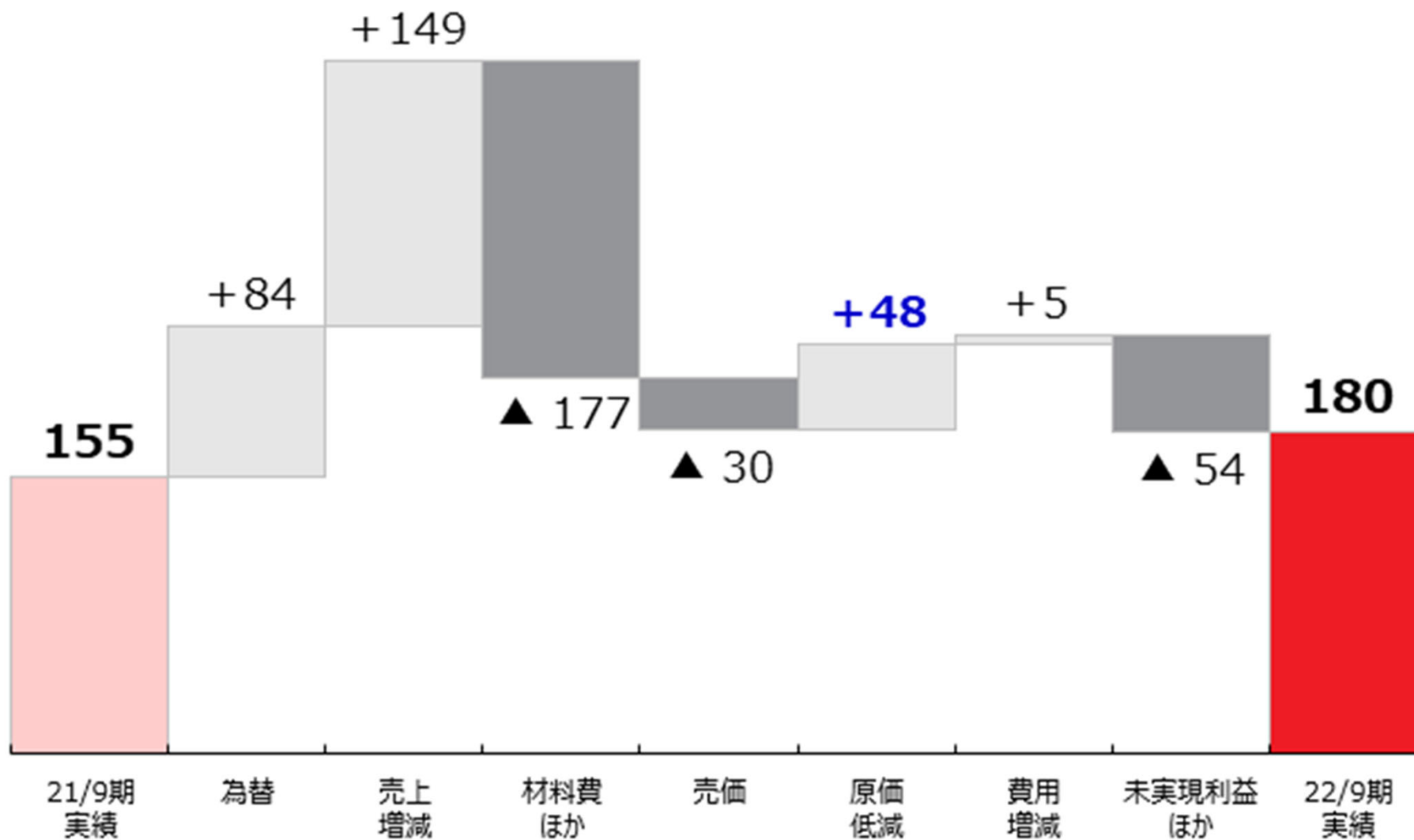
(※1) 「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益

(※2) 親会社の所有者に帰属する四半期(当期)利益

1-2) 実績 - 事業利益増減分析



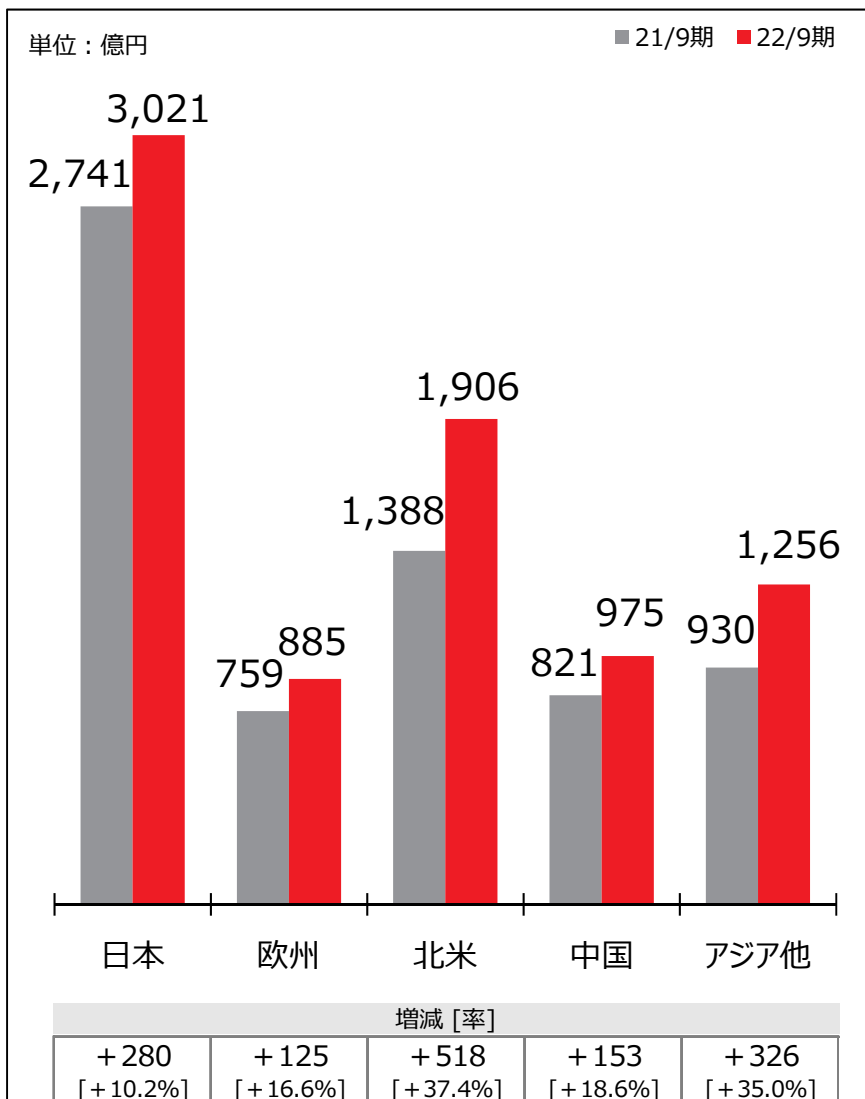
単位：億円



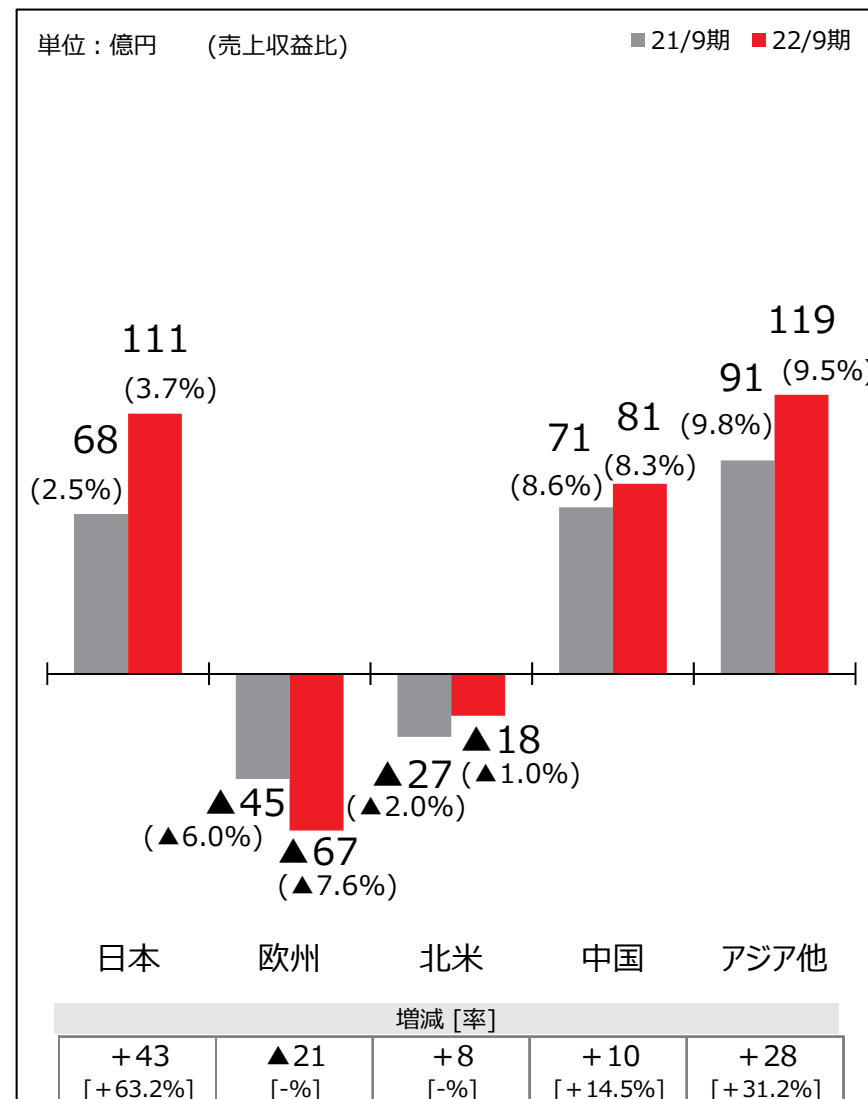
1-3) 実績 - 所在地別業績



売上収益



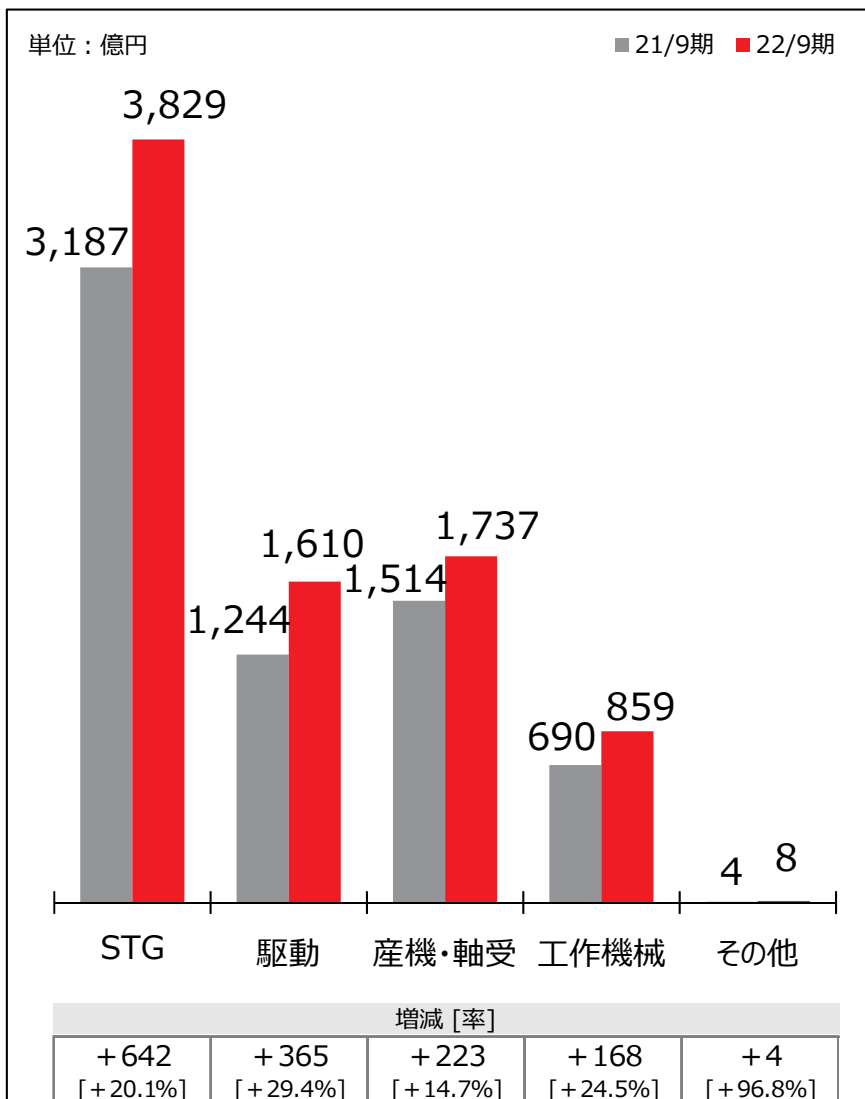
事業利益



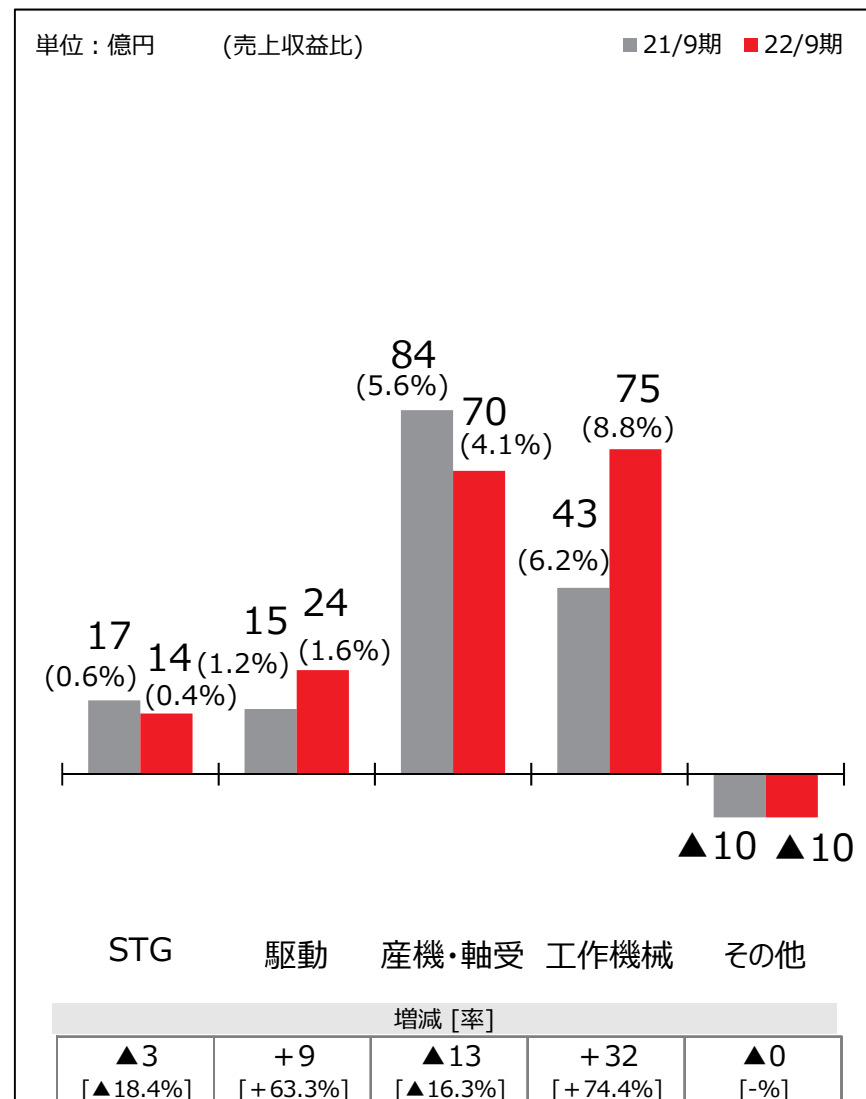
1-4) 実績－事業別業績



売上収益



事業利益



1. 2023年3月期 第2四半期実績	P 4
2. 2023年3月期 通期業績予想	P 9
3. 中期経営計画達成に向けた取組み	P 1 4
4. 参考資料	P 2 7

2-1) 予想－連結損益

- インフレ影響が重荷となるも、円安効果・体質改善等により前年同期比増益見込み。
- 将来に向けた戦略投資を実施しつつ、さらなる原価低減活動の推進、固定費の削減・効率化や客先転嫁等によるインフレ影響の極小化に取り組む。

()内は売上収益比 単位：億円

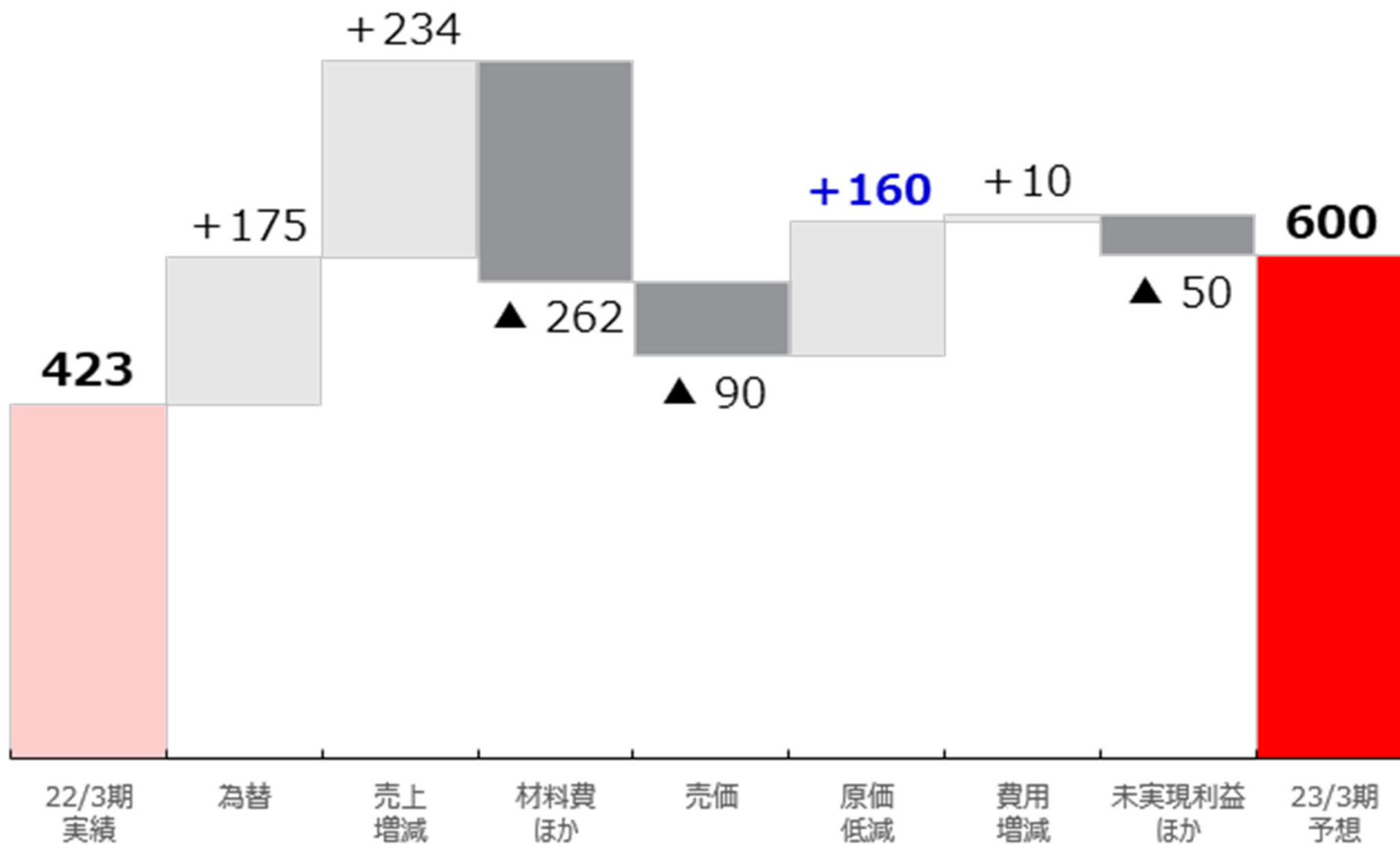
	22/3期 実績	23/3期 予想	増減額	増減率
売上収益	14,284	17,000	+2,715	+19.0%
事業利益 ※1	(3.0%) 423	(3.5%) 600	+176	+41.7%
営業利益	(2.5%) 364	(3.1%) 530	+165	+45.6%
税引前利益	(3.1%) 439	(3.5%) 595	+155	+35.4%
当期利益 ※2	(1.4%) 206	(1.5%) 250	+43	+20.9%
為替レート USD	112.38円	134.00円	21.62円 円安	
EUR	130.56円	137.00円	6.44円 円安	
1株当たり当期利益	60円31銭	72円89銭		

(※1) 「売上収益」から「売上原価」と「販売費および一般管理費」を控除した当社独自の管理利益

(※2) 親会社の所有者に帰属する当期利益

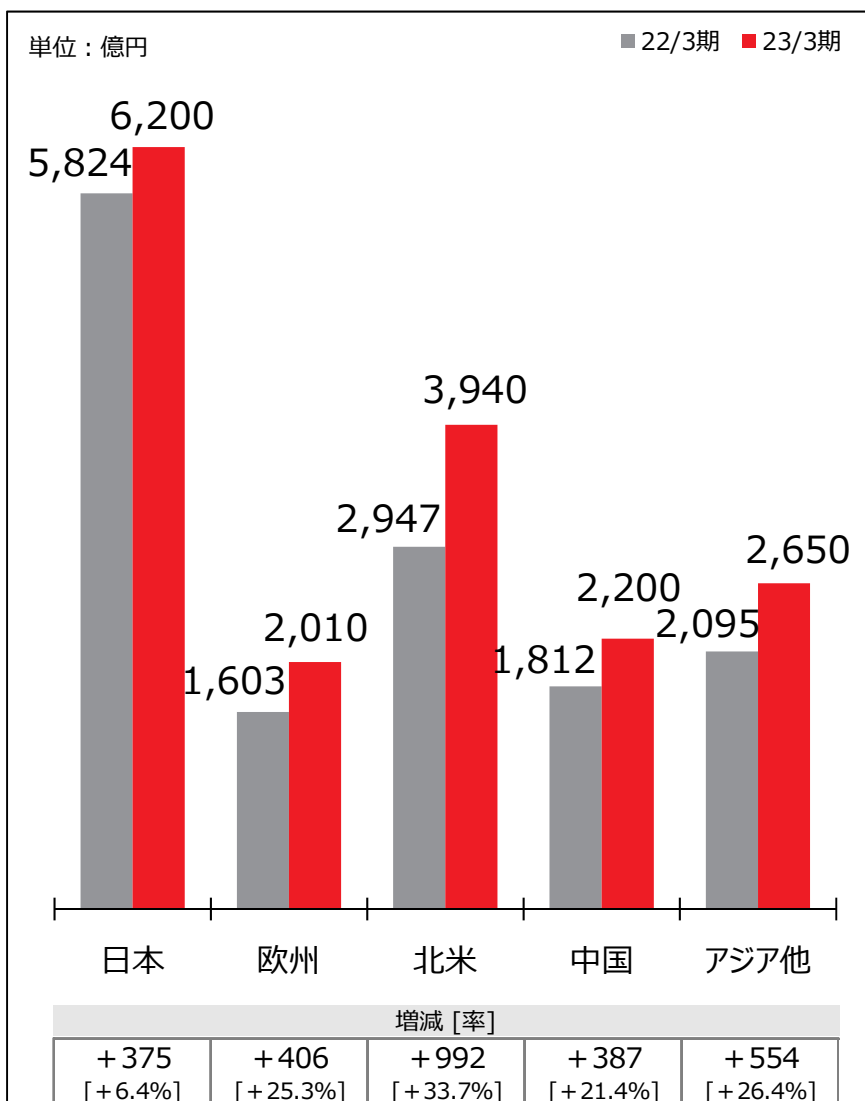
2-2) 予想 - 事業利益増減分析

単位：億円

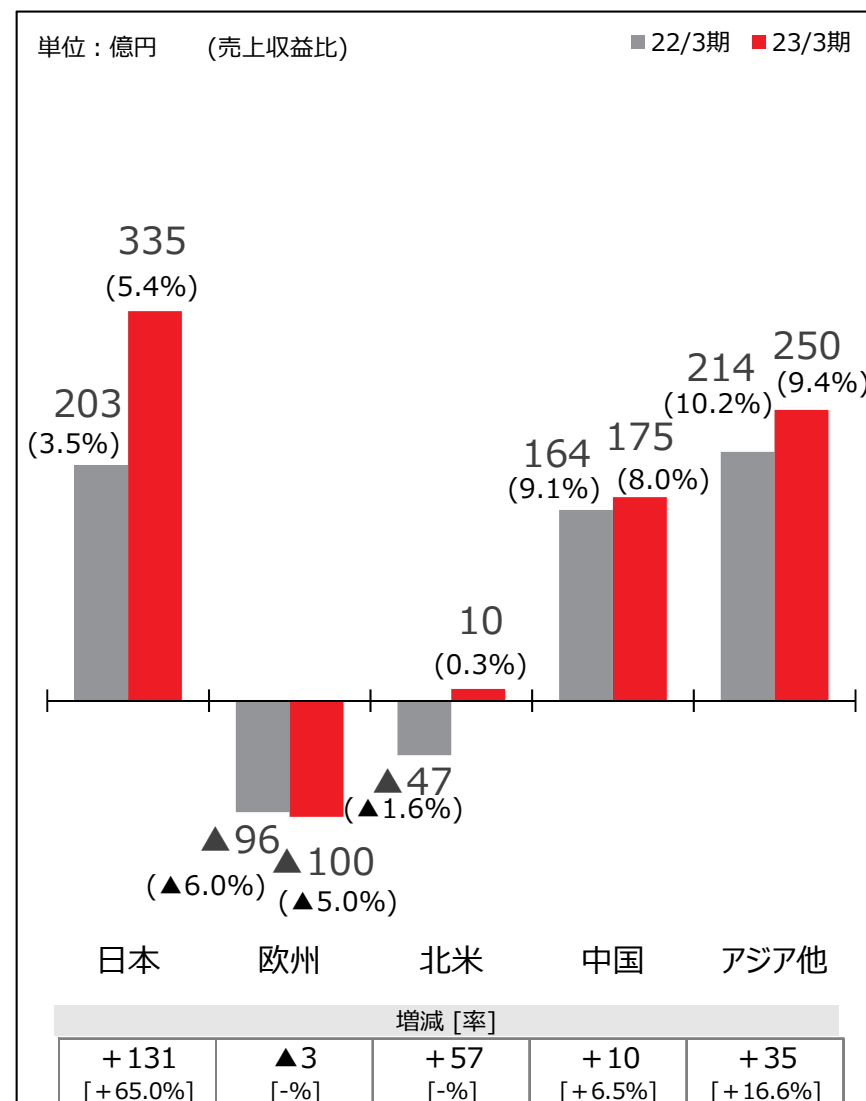


2-3) 予想 - 所在地別業績

売上収益



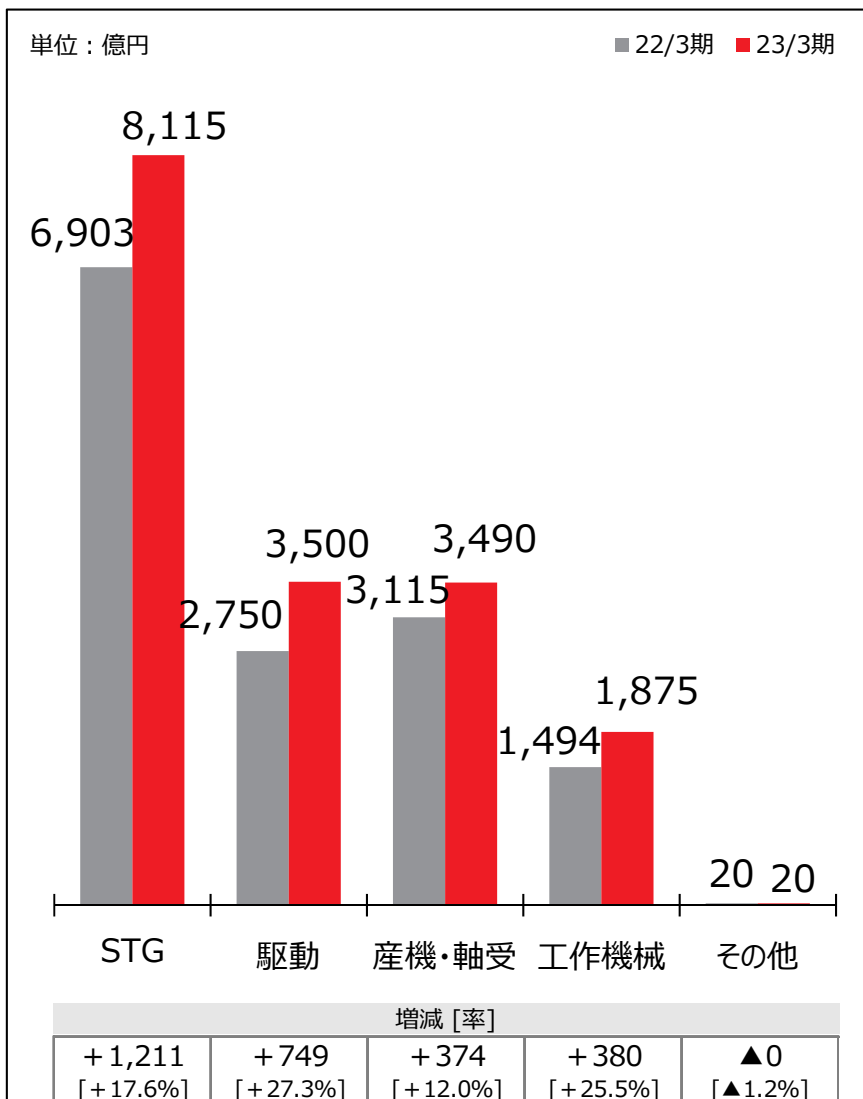
事業利益



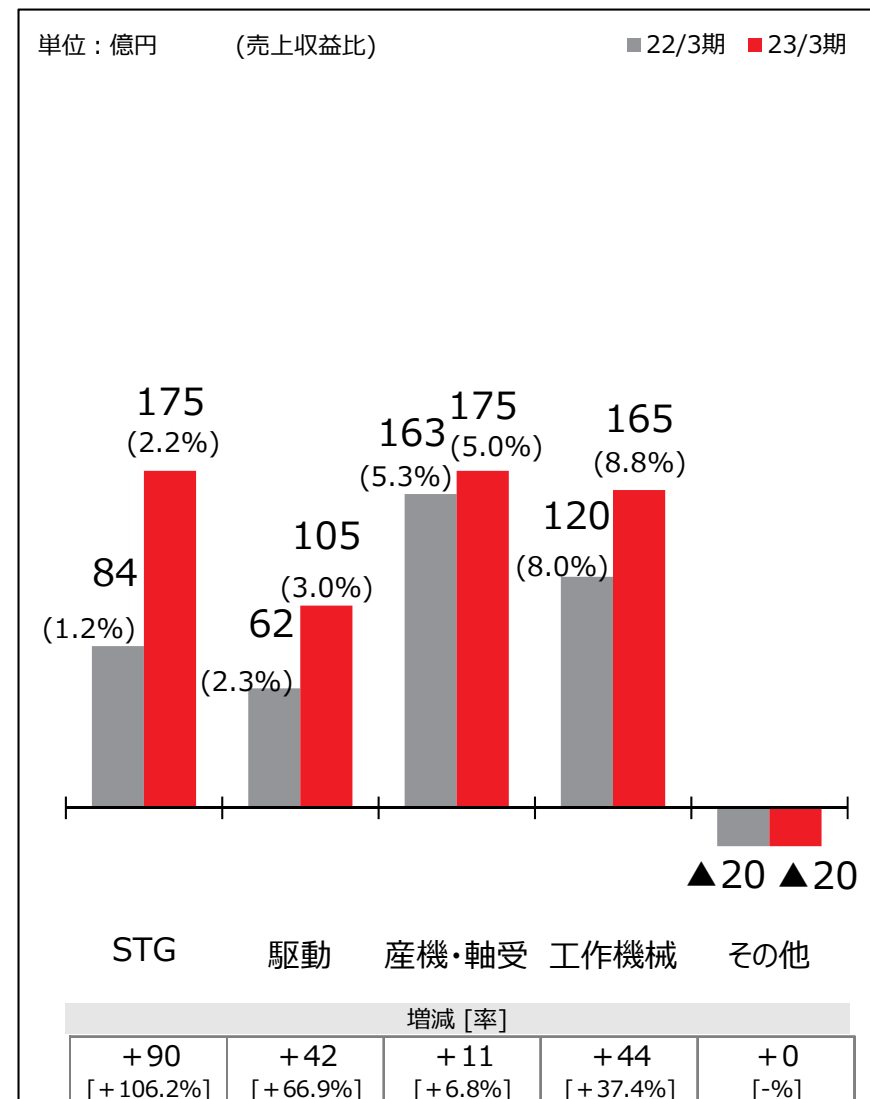
2-4) 予想 - 事業別業績



売上収益



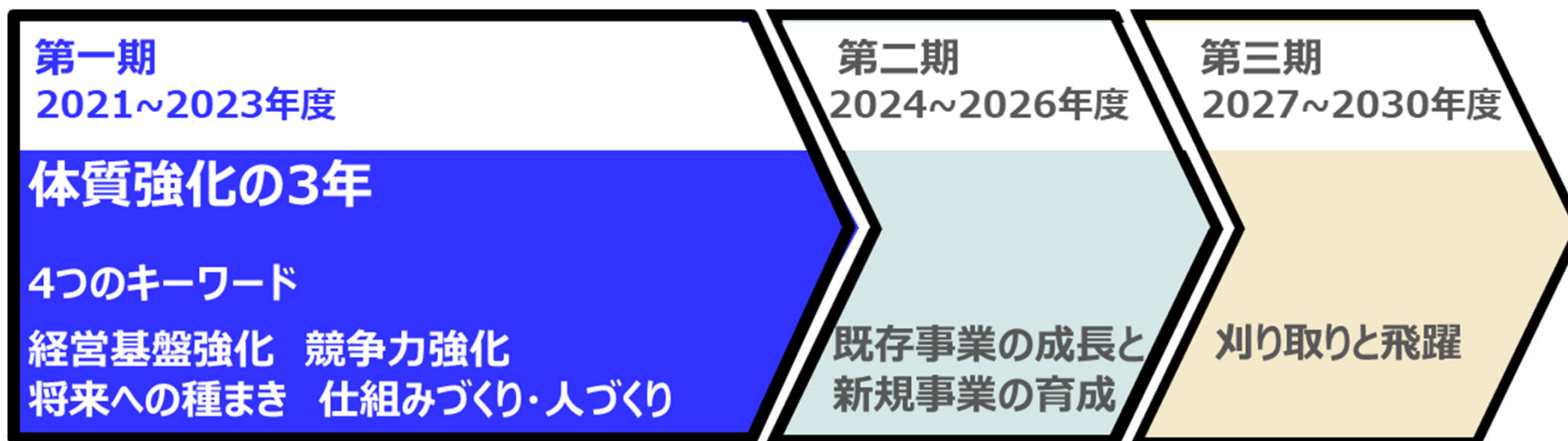
事業利益



1. 2023年3月期 第2四半期実績	P 4
2. 2023年3月期 通期業績予想	P 9
3. 中期経営計画達成に向けた取組み	P 1 4
4. 参考資料	P 2 7

3. 中期経営計画達成に向けた取組み

- 2021年5月、**長期・中期経営計画を公表**
- 2030年までの10年を3期に分割、**第一期中計期間を「体質強化の3年」とし、損益分岐点売上比率('19年度売上比)80%、事業利益1,000億円の目標設定**



	2021年度	2022年度	2023年度
損益分岐点 2019年度比	85%	83%	80%

2023年度 事業利益1,000億円を目指す

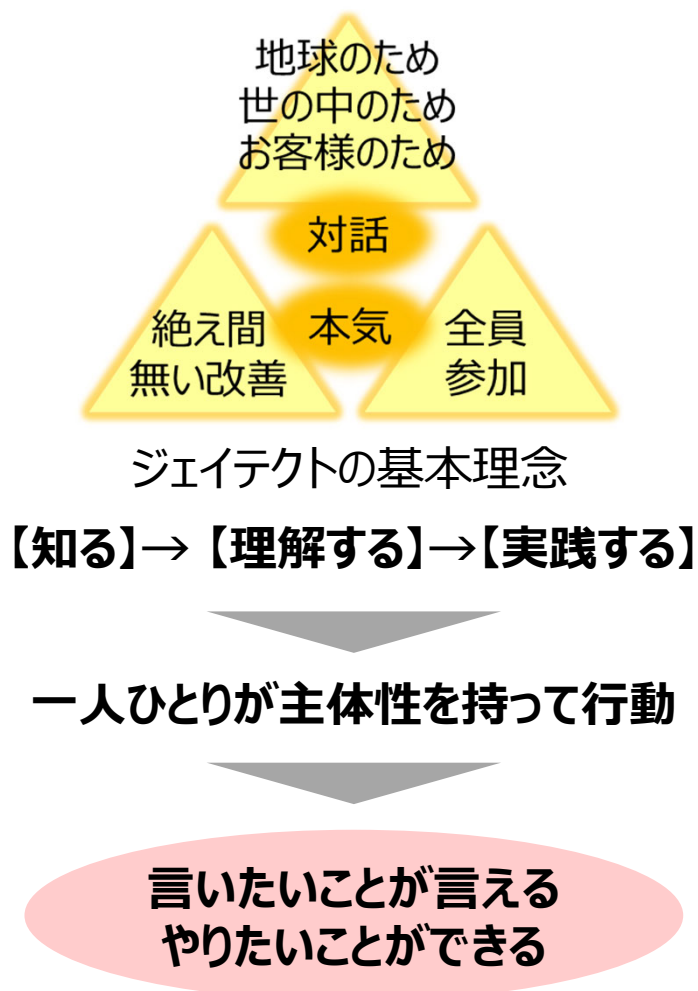
3. 中期経営計画達成に向けた取組み

■ 「体質強化の3年」の2年目、引続き「**ジェイテクトReborn**」に取り組む

(1) 人づくり、 仕組みづくり	基本理念を全員が実践できる会社へ
(2) 競争力強化	電動化への取組み 駆動領域の強化 産機成長市場への取組み
(3) 将来への種まき	自動運転への取組み アフターマーケット事業拡大
(4) 経営基盤強化	One JTEKTへの取組み
(5) ESGの取組み	将来課題についての議論活発化

3-1) 人づくり、仕組みづくり

■ 「ジェイテクトの基本理念」の浸透を通じて、
「言いたいことが言える、やりたいことができる」自由闊達な会社へ



実施項目	進捗/結果
<ul style="list-style-type: none"> 「た・い・わ」活動 職場活力を計るサーベイを用いた職場風土の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 「いい仕事」と「ココロの天気」に相関関係 「いい仕事」(62%*) をすることで、「ココロの天気☀️」(72%*) を増やす【2022年4月～ 毎月実施】
<ul style="list-style-type: none"> QCサークルを活用した人材育成の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 工場長との対話を通じ、自主的な取組みを促進【2022年4月～ 1回/半期実施】 “褒めて伸ばす”を実践(経営会議で優秀サークルが発表)
<ul style="list-style-type: none"> 主体的なキャリア形成支援 	<ul style="list-style-type: none"> 公募制度実績 5部署18名がマッチング

* 社内サーベイ (2022年10月実施分) における肯定的な回答の割合

3-2) 競争力強化

■ グループシナジーを発揮し、**電動車・産機市場での事業成長**を目指す

自動車の電動化

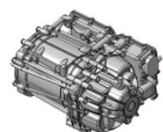
電動化によって変化するニーズ

小型

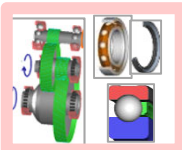
高効率

軽量

電費



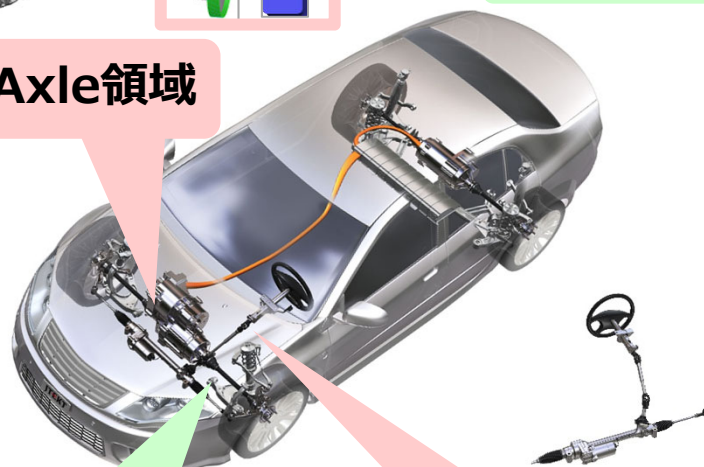
搭載



電動化領域

全パワトレ領域

① eAxle領域



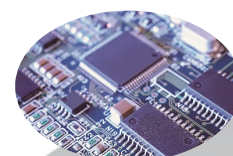
③ 駆動領域



② 商用車STG領域



産機成長市場



半導体



農業機械



医療機器

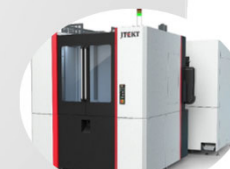


建設機械

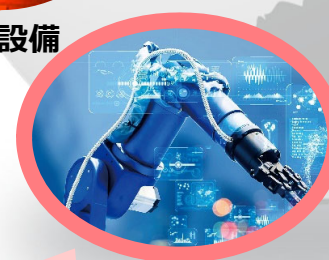
成長市場で **No.1&Only One** を目指す



鉄鋼設備



工作機械



④ ロボット領域



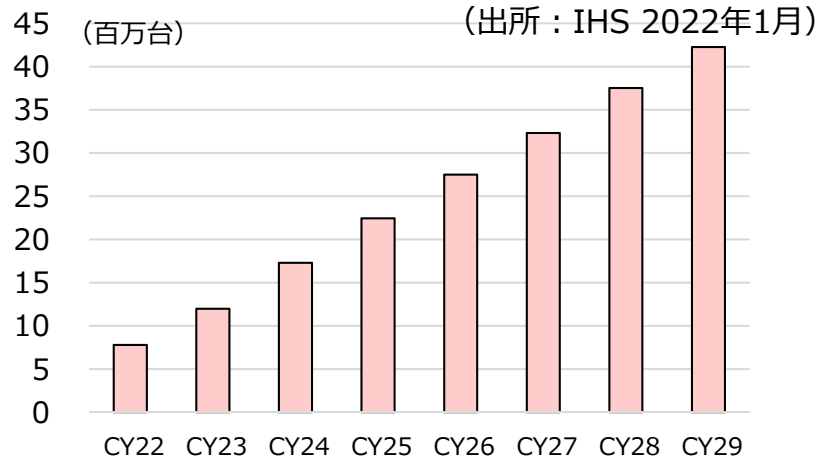
風力発電

3-2) 競争力強化① (電動化への取組み - eAxle領域)

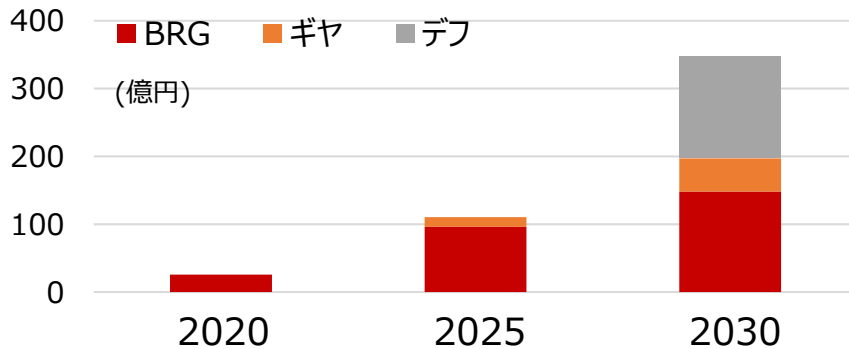
■ eAxleにとっての重要要素である、小型化、軽量化、高効率化にグループ製品/技術を活用し、ユニットで貢献

市場動向と目標

eAxle市場 '29年に4,000万台超



eAxle向け製品売上イメージ



製品・強み

超小型シリーズで全長短縮、軽量化に貢献



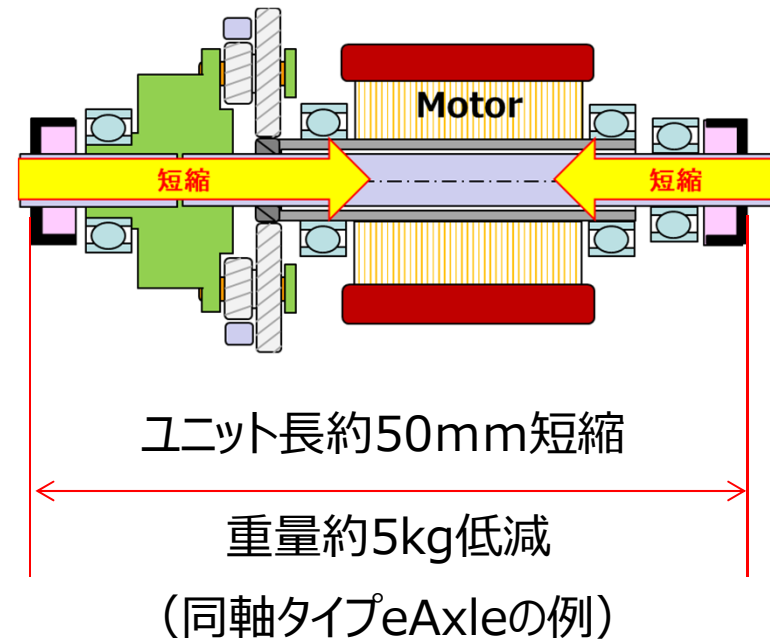
JUCD
JTEKT Ultra
Compact Diff



JUCB
JTEKT Ultra
Compact
Bearing



JUCS
JTEKT Ultra
Compact Seal

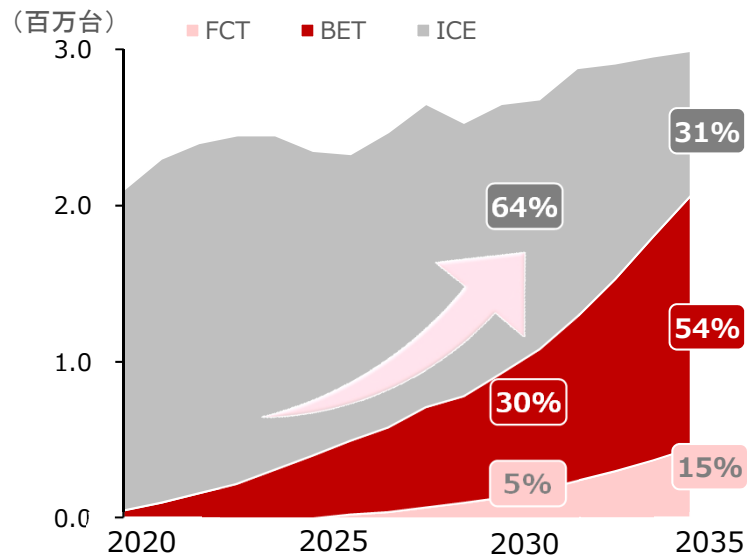


3-2) 競争力強化② (電動化への取組み - 商用車STG領域)

■ ステアリングNo.1メーカーとして、今後想定される商用車の電動化に対応するため 小型商用車向けステアリングの電動化を実現

市場動向

小型商用車領域でも電動化が進む

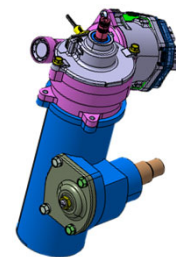
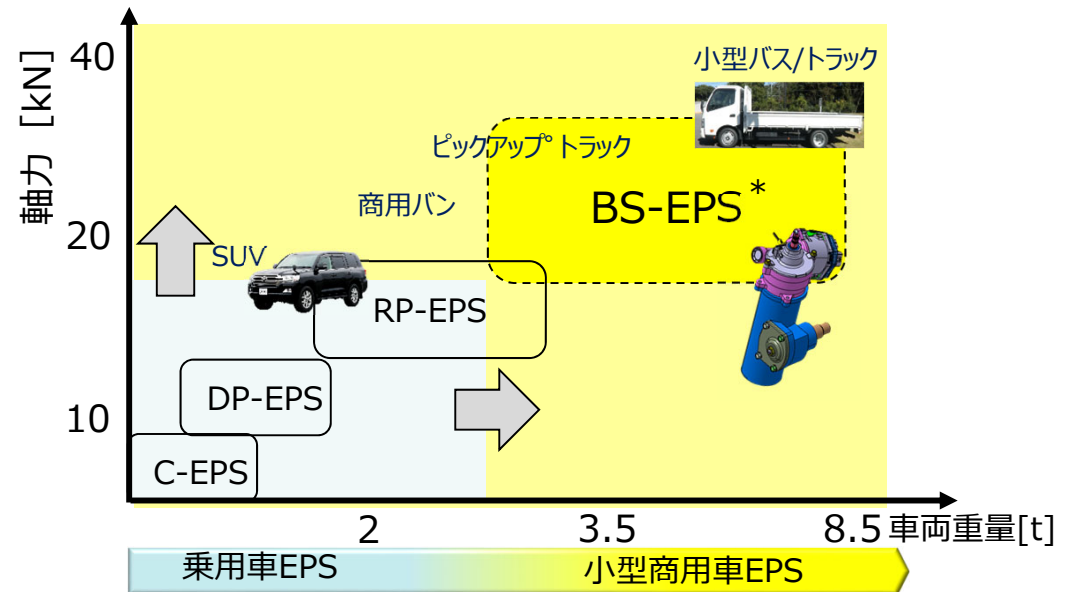


西欧のトラック製造予測
(出所: PwC トラックスタディ2020)

商用車向け電動パワーステアリングへの要求が高まる

製品・強み

* Ball Screw Electric Power Steering



BS-EPS

- 各社がしのぎを削る中、トラック用油圧パワーステアリングを電動化
- 高出力な電動パワーステアリング (BS-EPS)を開発

3-2) 競争力強化③ (駆動領域の強化)

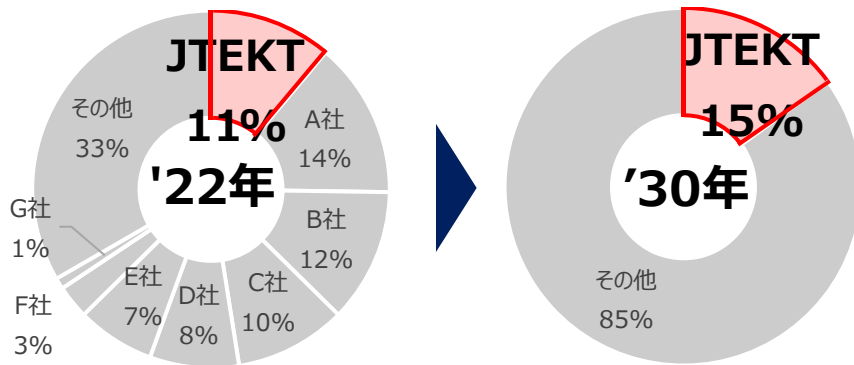


■ ドライブラインシステムとして**圧倒的な競争力**(性能/コスト)を身につけ、**シェアアップ**へ

グローバルシェア拡大

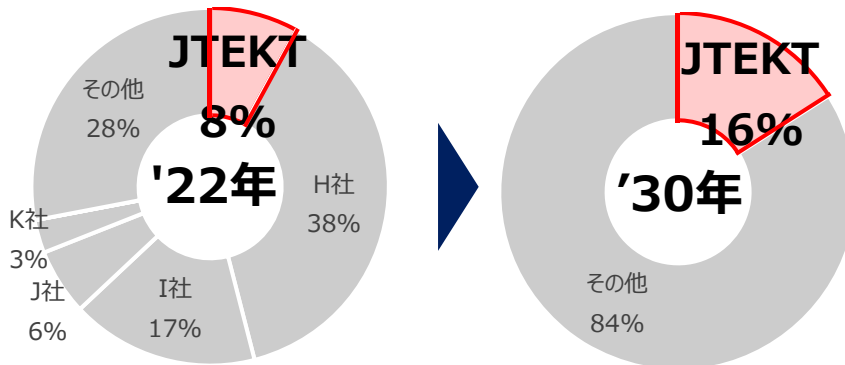
(’22年は当社調べ)

HUB



グループシナジー追求／原価低減推進

CVJ



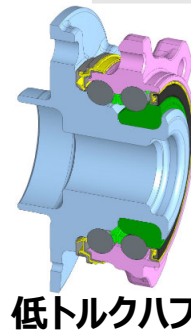
新製品開発／原価低減推進

強みを活かしてシェアアップを狙う

HUB

グループ技術を結集

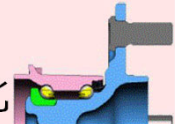
グループシナジー



内製シールによる
低トルク化の実現



内製熱処理技術による
ハウジングの薄肉化・軽量化



CVJ



- ・低振動ドライブシャフトを新開発
- ・原価低減活動の更なる強化

ドライブラインシステム

駆動伝達を担うハブ～デフまでをシステムトータルで対応

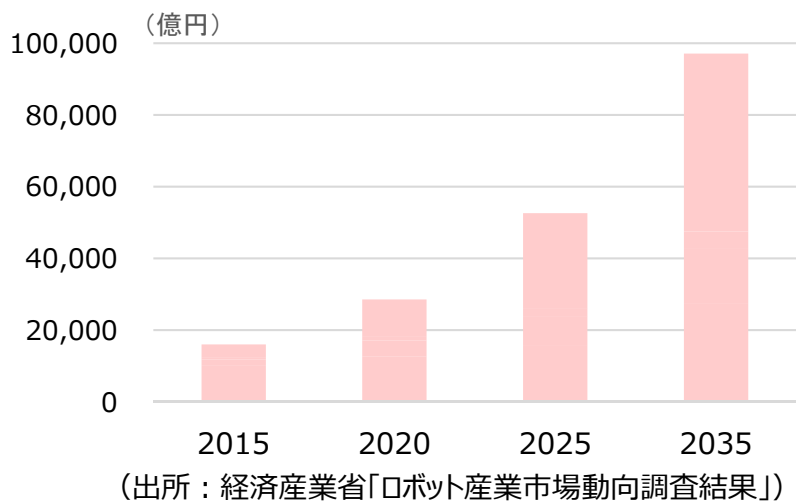
	JTEKT	α社	β社	γ社
HUB	✓		✓	✓
CVJ	✓	✓	✓	
デフ	✓	✓		

3-2) 競争力強化④ (産機成長市場への取組み - ロボット領域) JTEKT

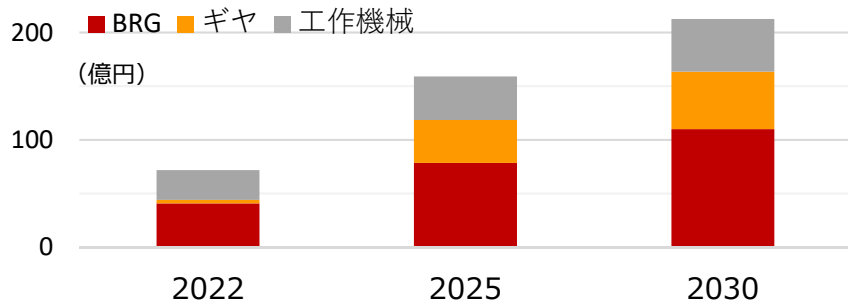
■ 労働力不足を背景にして成長する産業用ロボット市場を、グループの製品・技術で支える

市場動向と目標

ロボット市場は急成長

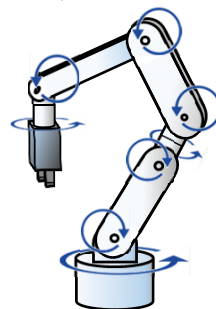


ロボット関連製品売上イメージ



製品・強み

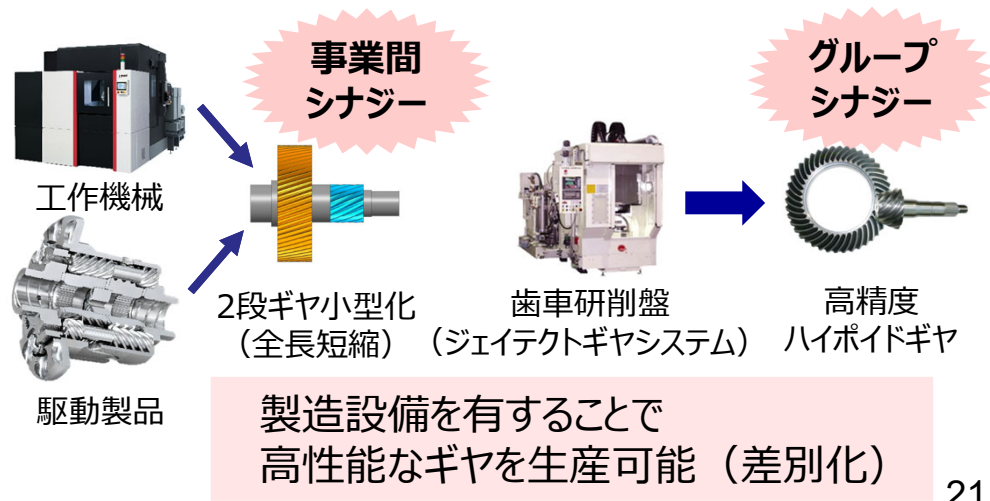
ロボットのすべての可動部位に採用



ギヤ
軸受
オイルシール
ピン/シャフト
など



ジェイテクトグループのシーズを組み合わせ
高精度、高剛性を実現する要素技術/製品を提供

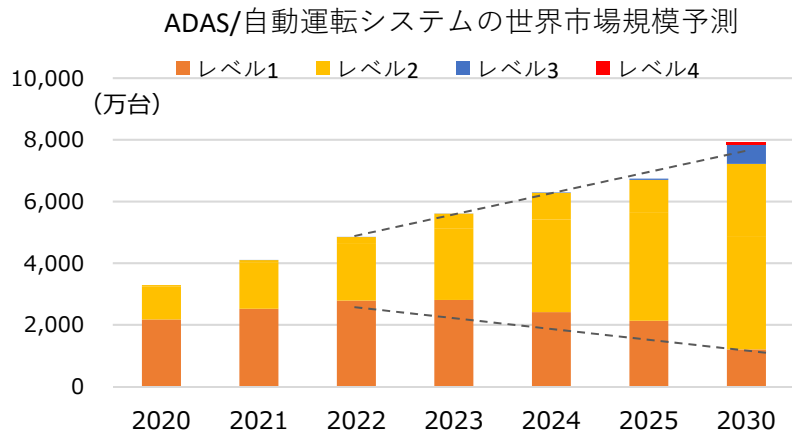


3-3) 将来への種まき① (自動運転への取組み)

■ 今後普及が進む自動運転に対応する独自技術を、ハードとソフトの両面で提案

市場動向と目標

ADASレベル2以上を中心に市場は右肩上がり



出典：矢野経済研究所「自動運転システムの世界市場に関する調査（2022年）」

機械と人が融合するADASレベル2～4向けの次世代技術を当社独自開発



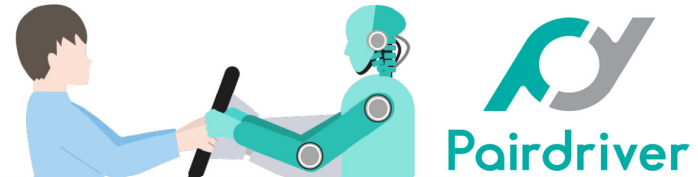
「曲がる」のリーディングカンパニーとして自動運転領域でも更に進化

製品・技術

Pairdriver™

Only one

車の操舵タスクを人とシステムが共有して安全運転を実現するステアリング制御システム



ドライバーとシステムの意思をつなぐ直観的コミュニケーション
安全、安心、快適に貢献

Only one or No.1

J-EPICS* (SbW*)

自動運転にも適応した新たなステアリングシステム



*Steer-by-Wire

*JTEKT Electronics Performed Intelligent Control Steering

次世代コックピットイメージ

3-3) 将来への種まき② (アフターマーケット事業拡大)

- 「商品×地域」でアフターマーケットの事業領域を拡大し、売上倍増を目指す

成長戦略

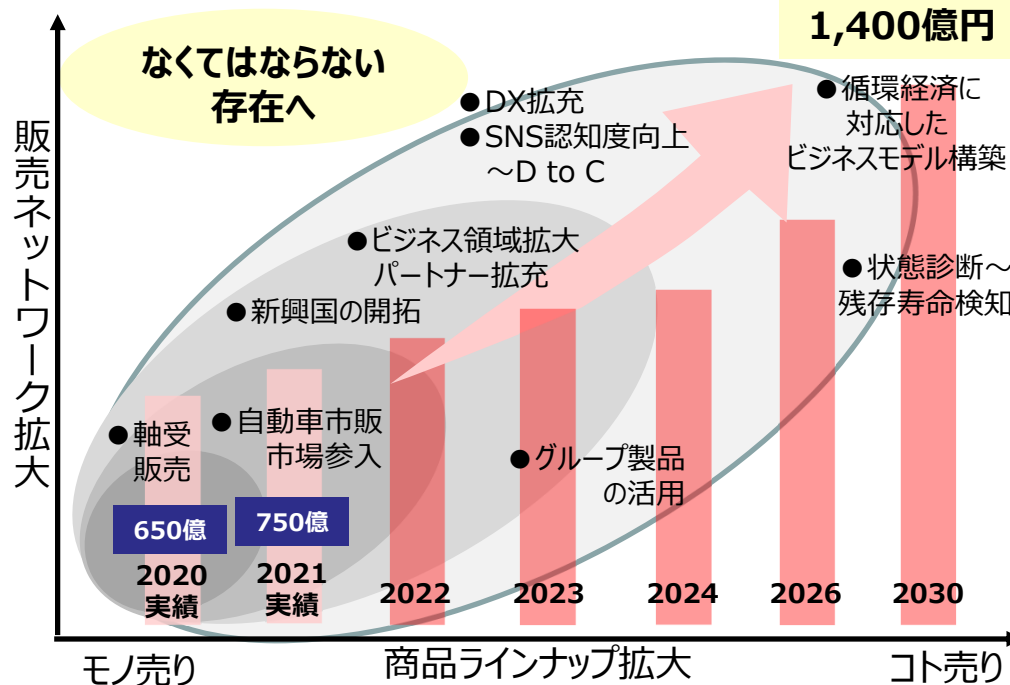
① 品揃えの拡充

軸受中心 ⇒ 自動車部品 + グループ商材

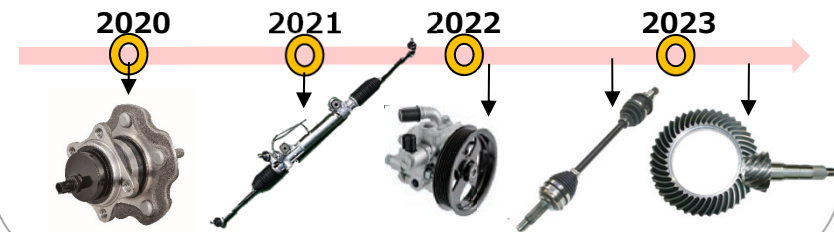
② 販売地域の拡大

先進国中心 ⇒ 新興国の開拓

※ 上記と並行して将来の拡販戦略を検討



- ・ ステアリング、駆動部品をはじめグループ商品を順次品揃え
- ・ 補修商品ラインアップを拡充



「ONI(鬼)ベアリング」開発

- ・ 社員の自発的提案により自転車用軸受を開発
- ・ 「やりたいことが伸び伸びできる」企業風土が徐々に浸透



3-4) 経営基盤強化 (One JTEKTへの取り組み)

- One JTEKT施策を次々と打ち出しグループの一体感を醸成
- 相互理解を深め、グループシナジーの発揮につなげる

新たなシナジーの発掘

DISCOVER JTEKT

- **グループ会社の紹介VTR**を全員が視聴
- **個社の強み・特徴を相互に理解し**
シナジー発揮のヒントを得る



グループシーズ座談会

- グループ各社から**若手技術者が集結し**
新たな技術コンピタンスを生み出す会
- **グループの「繋がり」**
を体感することで
One JTEKTの
伝道師をつくる



One JTEKT施策

グループ会社の社名変更

- 国内グループ会社11社の社名を変更
(海外も順次JTEKTに統一)



JIMTOFにJTEKTグループとして出展

ユニフォームの統一

- 2023年4月1日より、
ユニフォームを**グループ**
統一デザインに変更



3-5) ESGの取組み

- 地球のため、世の中のため、お客様のために、グループ会社・サプライヤーと一体となり、ESGの取組みを強化

Environment

全員参加で
徹底的な省エネ

再生エネルギー
積極導入

革新技術
開発促進

グループ一丸で推進し、
2035年CNを目指す

Social

- ・「ジェイテクト仕入先サステナビリティガイドライン」を発行
「人権擁護」や「地球環境保護」を求め
サプライヤーから同意を取得

Governance

社外役員を含めた議論の活性化

- ・「社外役員連絡会」「企業価値向上委員会」等、**将来に向けた課題について徹底討議する機会を充実**

グループガバナンス強化

- ・地域/子会社と、トップ同士、幹部同士等課題に応じた階層で**集中討議、即断即決**

ジェイテクトレポート2022 発行



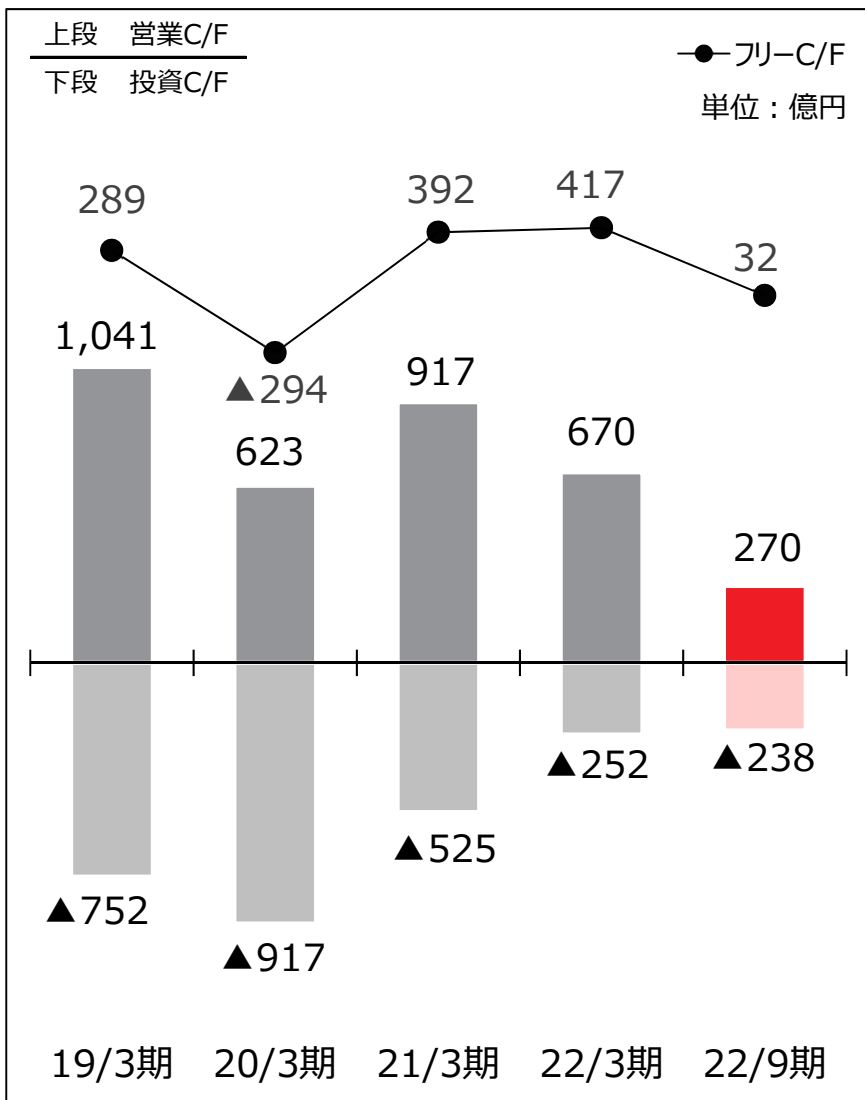
https://www.jtekt.co.jp/ir/jtekt_report2022.html

1. 2023年3月期 第2四半期実績	P 4
2. 2023年3月期 通期業績予想	P 9
3. 中期経営計画達成に向けた取組み	P 1 4
4. 参考資料	P 2 7

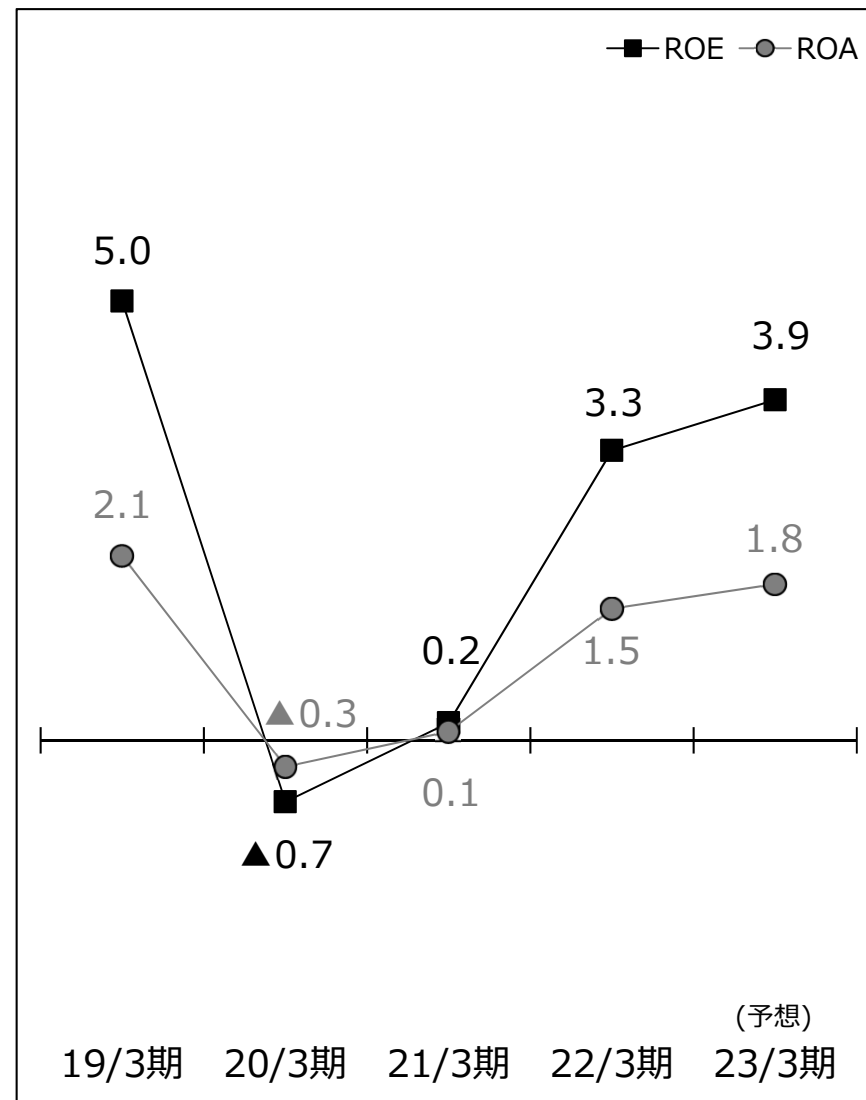
4-1) 経営指標－キャッシュ・フロー／ROE・ROA



キャッシュ・フロー



ROE・ROA



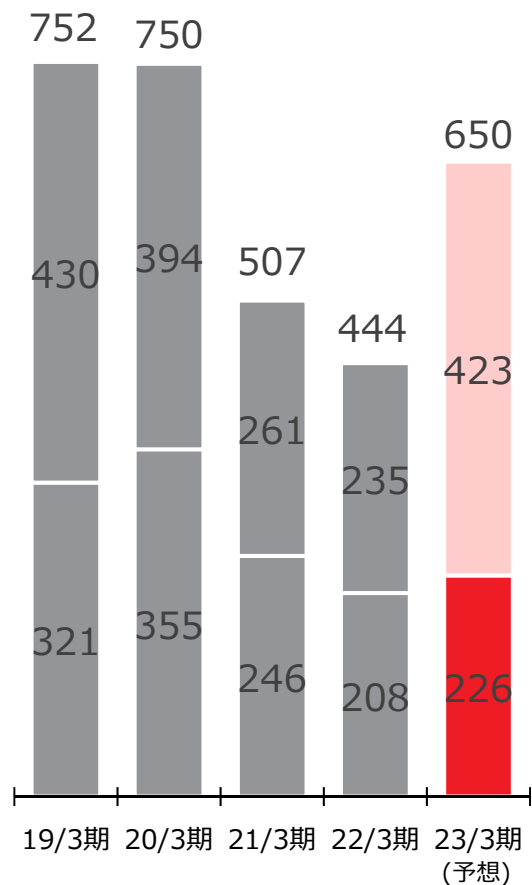
4-1) 経営指標－設備投資／減価償却費／研究開発費



設備投資

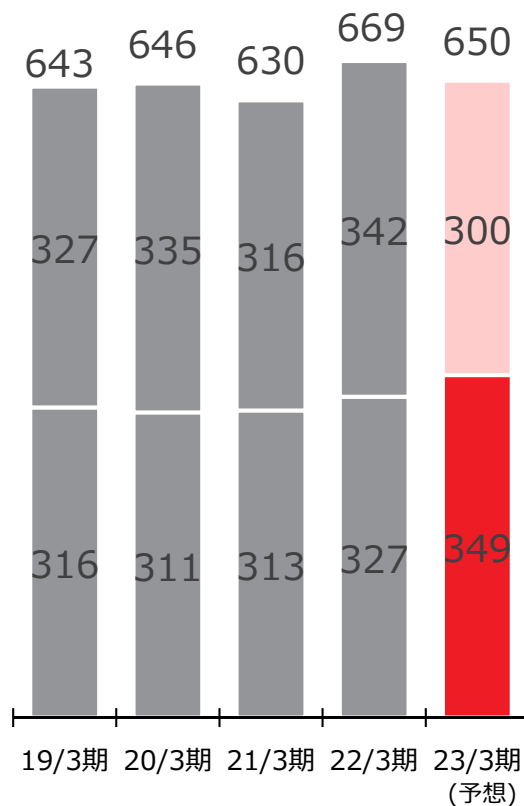
上段 10-3月
下段 4-9月

単位：億円



減価償却費

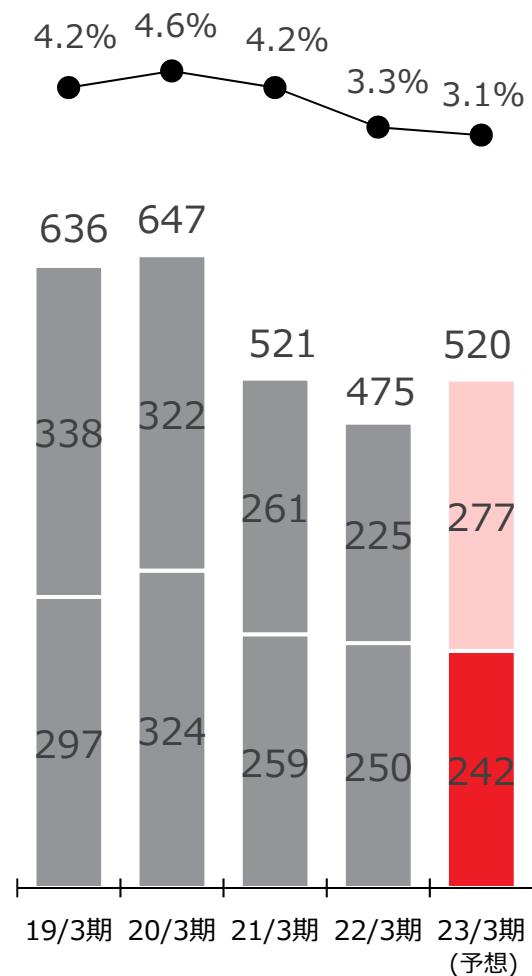
単位：億円



研究開発費

● 売上収益比

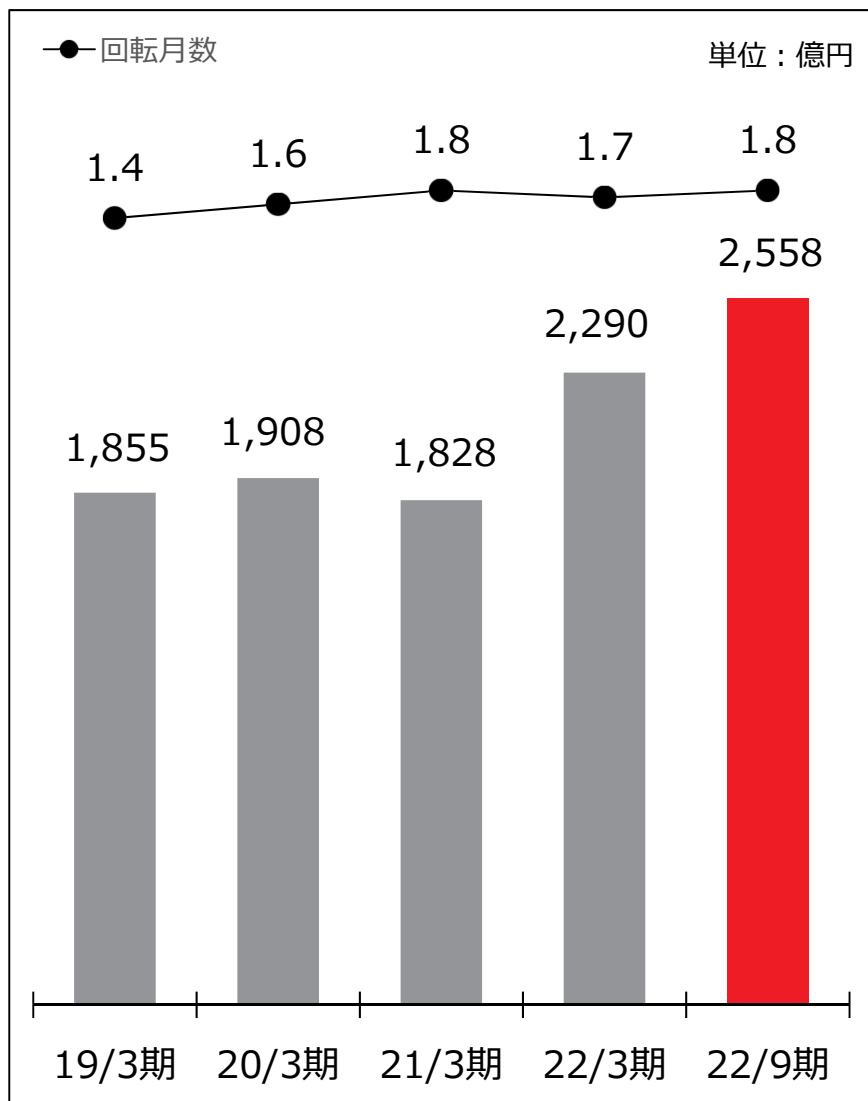
単位：億円



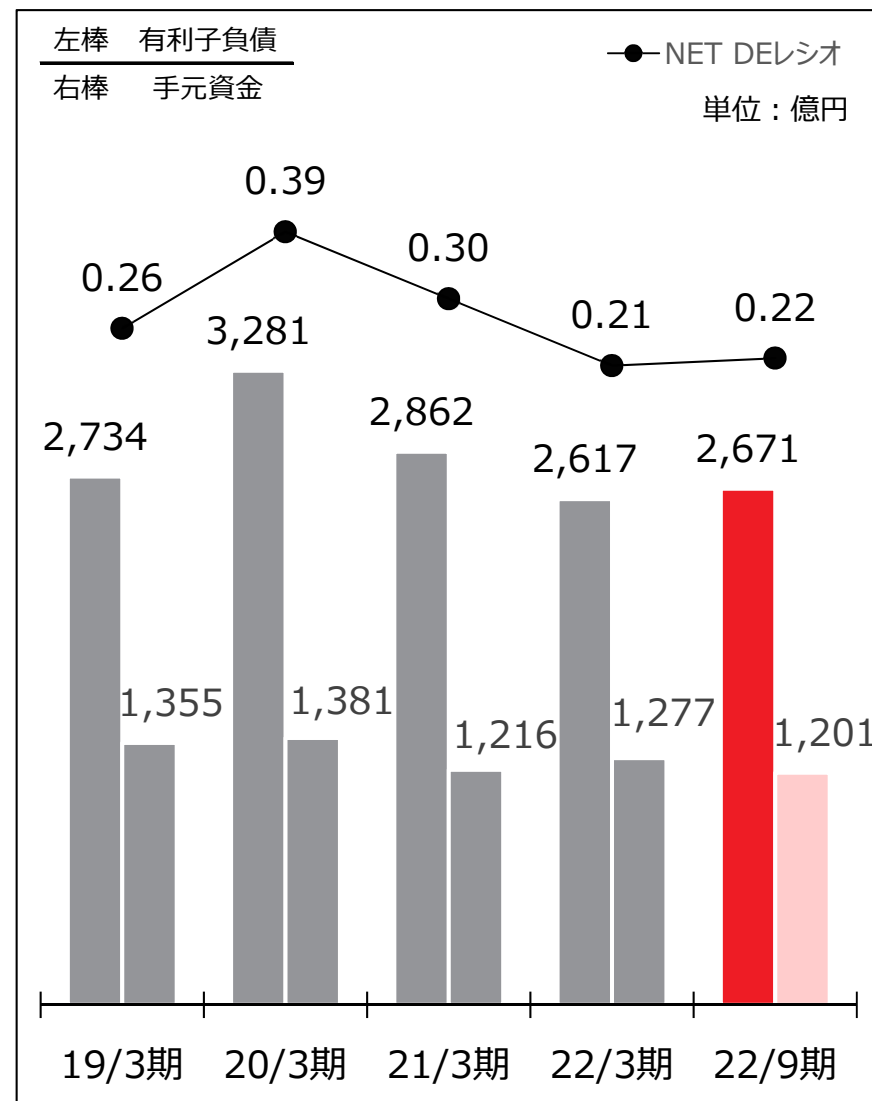
4-1) 経営指標 – 棚卸資産 / 有利子負債・手元資金



棚卸資産



有利子負債・手元資金



4-2) 財務諸表 – 連結財政状態計算書



資産

単位：億円

資産	22/3期	22/9期	増減額
現金及び 現金同等物	1,242	1,166	▲ 75
営業債権及び その他の債権	3,190	3,292	+101
棚卸資産	2,290	2,558	+268
その他 流動資産	130	121	▲ 9
有形固定資産	4,600	4,723	+122
その他 非流動資産	2,409	2,392	▲ 16
資産合計	13,864	14,255	+390

負債・資本

単位：億円

負債・資本	22/3期	22/9期	増減額
営業債務及び その他の債務	3,176	3,247	+70
有利子負債	2,617	2,671	+53
その他 流動負債	313	255	▲ 57
その他 非流動負債	1,152	1,155	+2
自己資本	6,240	6,566	+326
非支配 株主持分	364	359	▲ 4
負債・資本合計	13,864	14,255	+390

4-2) 財務諸表 – 連結損益計算書 / 連結キャッシュ・フロー計算書



連結損益計算書

単位：億円

	21/9期	22/9期	増減額
売上収益	6,641	8,045	+1,404
事業利益	155	180	+25
その他 収益・費用	▲ 2	7	+10
金融収益 ・費用等	25	76	+50
法人所得税 費用	▲ 97	▲ 124	▲ 26
非支配持分	▲ 12	▲ 17	▲ 4
親会社の所有者に 帰属する当期利益	67	122	+54

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

	21/9期	22/9期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	376	270	▲ 105
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 17	▲ 238	▲ 221
フリー キャッシュ・フロー	359	32	▲ 326
財務活動による キャッシュ・フロー	59	▲ 156	▲ 216
為替換算 差額等	2	48	+46
現金及び現金 同等物の増減額	421	▲ 75	▲ 496
現金及び現金 同等物の残高	1,607	1,166	▲ 440

4-3) 業績比較－実績 (地域別)

JTEKT

単位：億円

	地域	21/9期	22/9期	増減	増減率	為替	22/9期 為替除く	実質増減	実質増減率
売上収益	日本	2,741	3,021	+280	+10.2%	-	3,021	+280	+10.2%
	欧州	759	885	+125	+16.6%	+50	835	+75	+9.9%
	北米	1,388	1,906	+518	+37.4%	+342	1,564	+176	+12.7%
	中国	821	975	+153	+18.6%	+141	833	+11	+1.4%
	アジア他	930	1,256	+326	+35.0%	+149	1,106	+176	+18.9%
	合計	6,641	8,045	+1,404	+21.1%	+684	7,361	+719	+10.8%
事業利益	日本	68	111	+43	+63.2%	+64	46	▲ 21	▲ 31.3%
	欧州	▲ 45	▲ 67	▲ 21	-%	▲ 6	▲ 60	▲ 15	-%
	北米	▲ 27	▲ 18	+8	-%	▲ 3	▲ 15	+12	-%
	中国	71	81	+10	+14.5%	+17	63	▲ 7	▲ 10.4%
	アジア他	91	119	+28	+31.2%	+12	107	+16	+17.6%
	消去	▲ 1	▲ 45	▲ 43	-%	-	▲ 45	▲ 43	-%
	合計	155	180	+25	+16.4%	+84	95	▲ 59	▲ 38.1%

4-3) 業績比較－実績 (事業別)

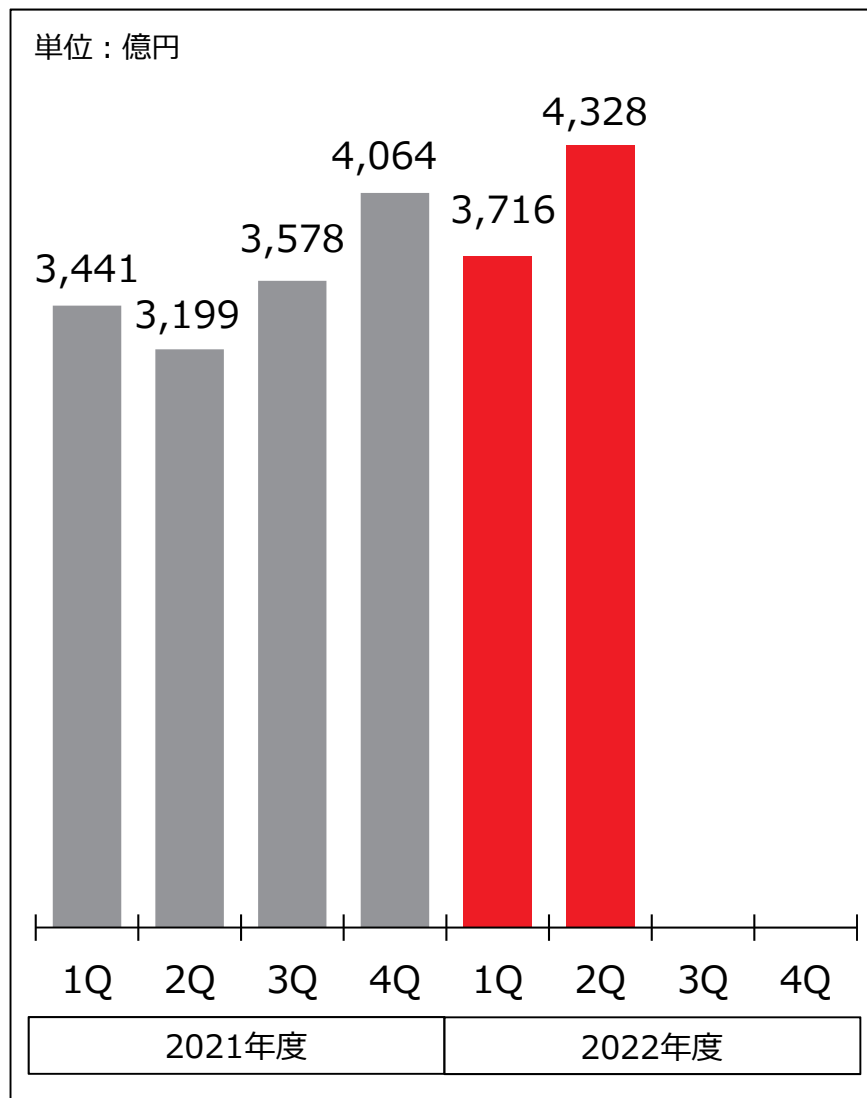
JTEKT

単位：億円

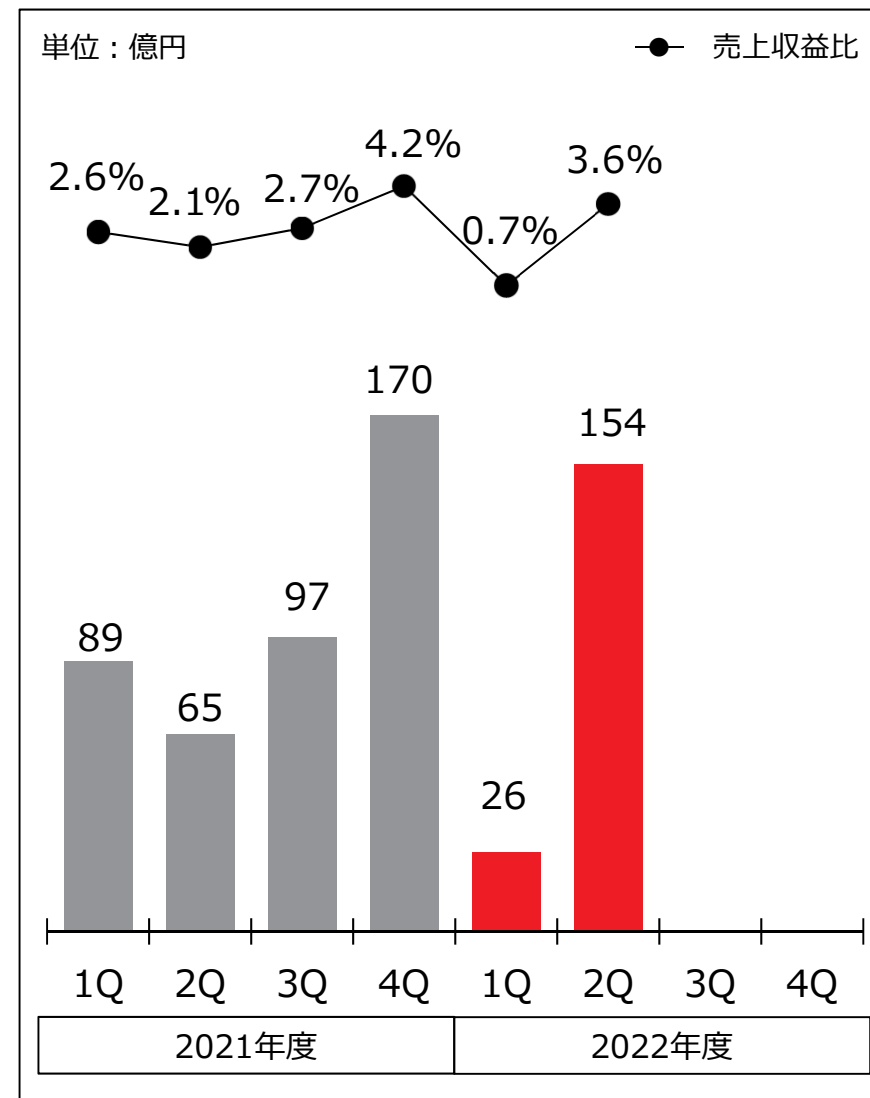
事業		21/9期	22/9期	増減		為替	22/9期 為替除く	実質増減		
売上 収益	ステアリング	3,187	3,829	+642	+20.1%	+382	3,447	+259	+8.1%	
	駆動	1,244	1,610	+365	+29.4%	+91	1,519	+274	+22.1%	
	自動車	4,432	5,440	+1,007	+22.7%	+473	4,966	+534	+12.1%	
	産機・軸受	1,514	1,737	+223	+14.7%	+126	1,611	+97	+6.4%	
	工作機械	690	859	+168	+24.5%	+84	774	+84	+12.2%	
	その他	4	8	+4	+96.8%	+0	8	+4	+96.8%	
	工作機械	694	867	+173	+24.9%	+84	783	+88	+12.7%	
	合計	6,641	8,045	+1,404	+21.1%	+684	7,361	+719	+10.8%	
	事業 利益	ステアリング	17	14	▲ 3	▲ 18.4%	+24	▲ 9	▲ 27	▲ 154.4%
		駆動	15	24	+9	+63.3%	+6	18	+3	+23.3%
自動車		33	39	+6	+19.2%	+30	9	▲ 24	▲ 72.5%	
産機・軸受		84	70	▲ 13	▲ 16.3%	+38	32	▲ 52	▲ 61.9%	
工作機械		43	75	+32	+74.4%	+15	59	+16	+38.9%	
その他		▲ 10	▲ 10	▲ 0	-%	+0	▲ 10	▲ 0	-%	
工作機械		33	64	+31	+95.2%	+15	48	+15	+48.0%	
消去		4	5	+1	+33.1%	-	5	+1	+33.1%	
合計		155	180	+25	+16.4%	+84	95	▲ 59	▲ 38.1%	

4-4) 業績推移

売上収益



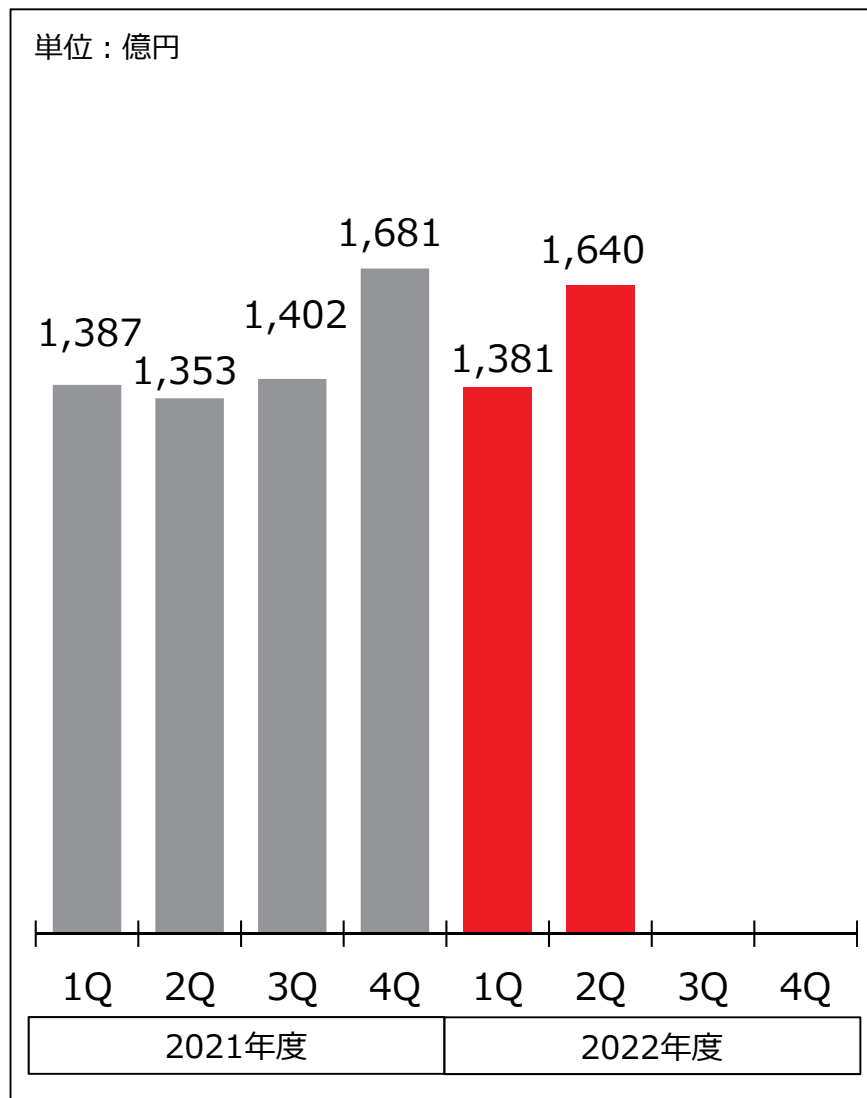
事業利益



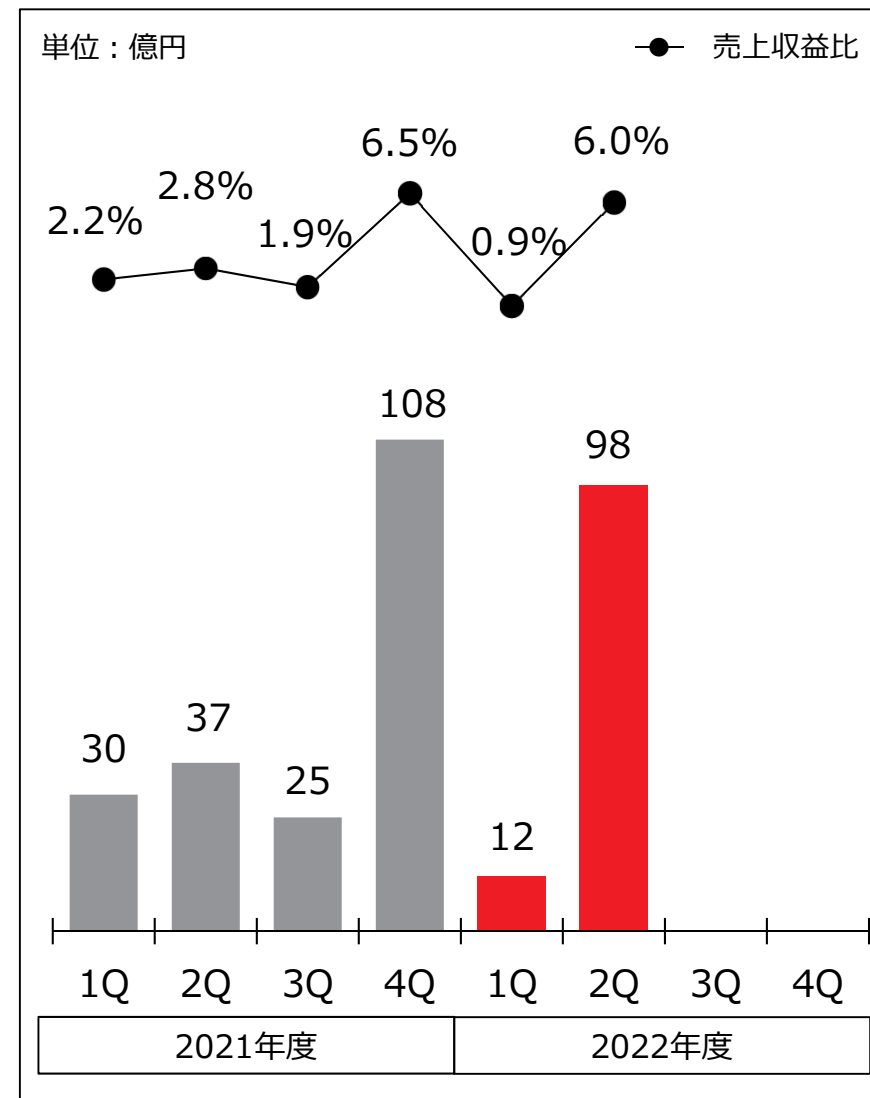
4-4) 業績推移 – 日本



売上収益



事業利益

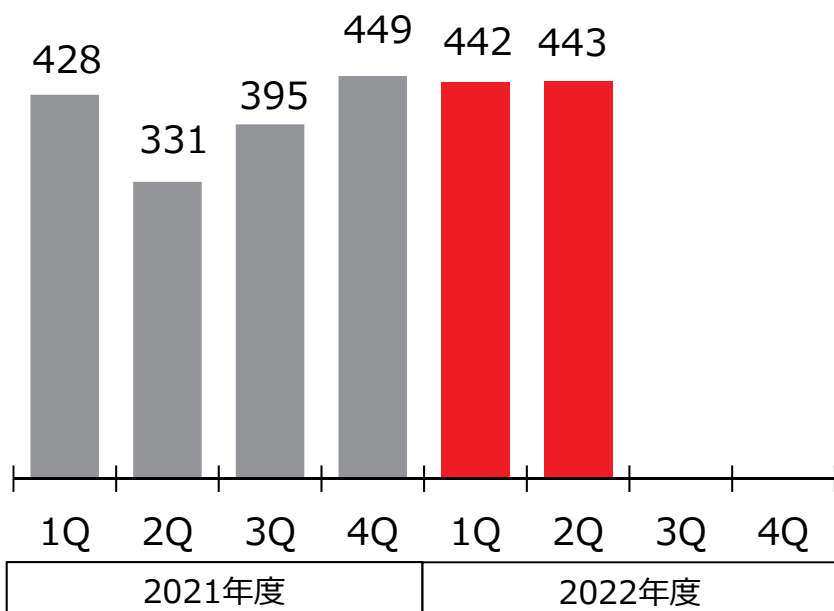


4-4) 業績推移 - 欧州



売上収益

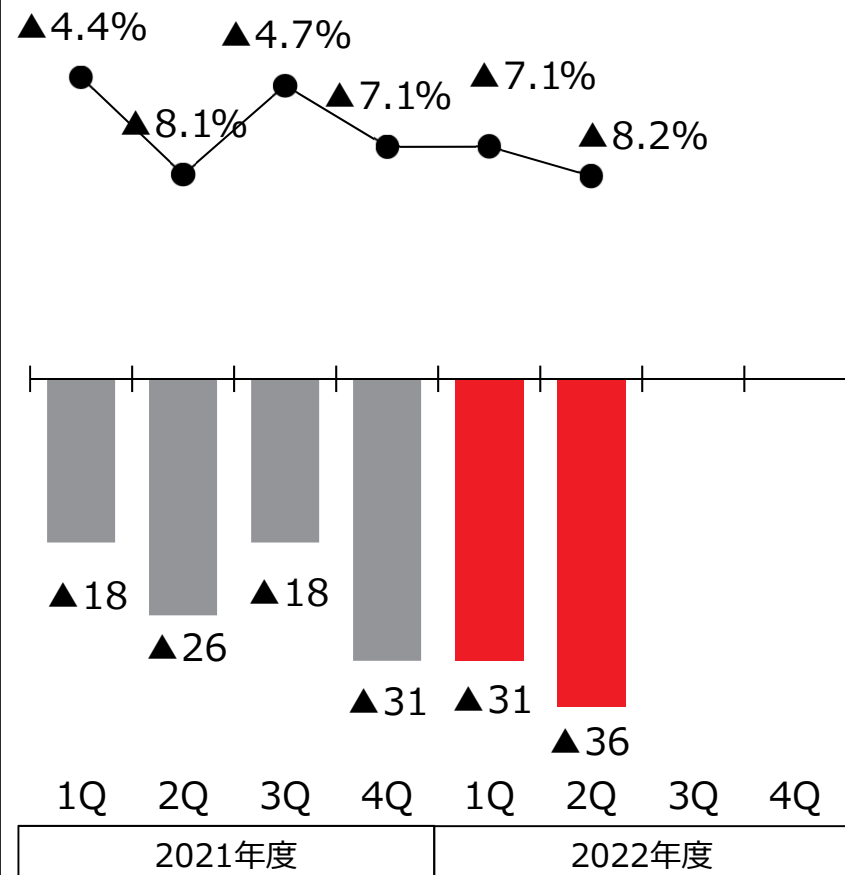
単位：億円



事業利益

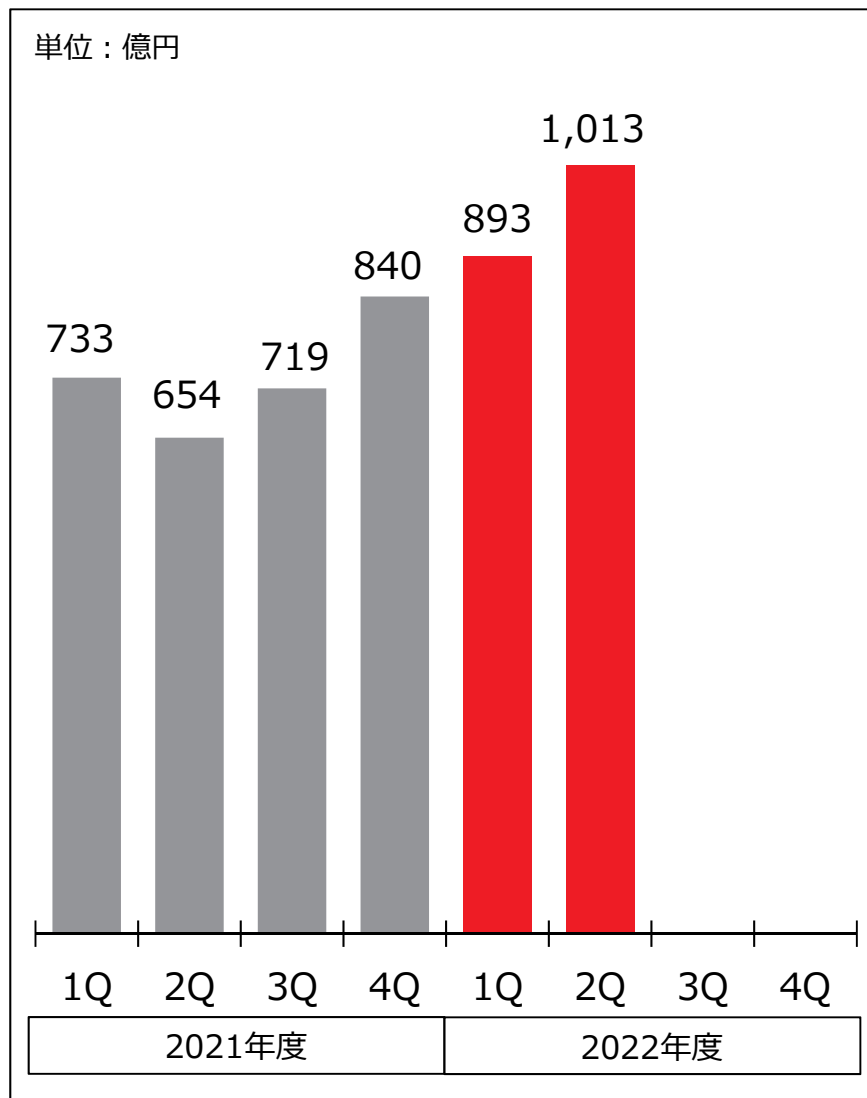
単位：億円

● 売上収益比

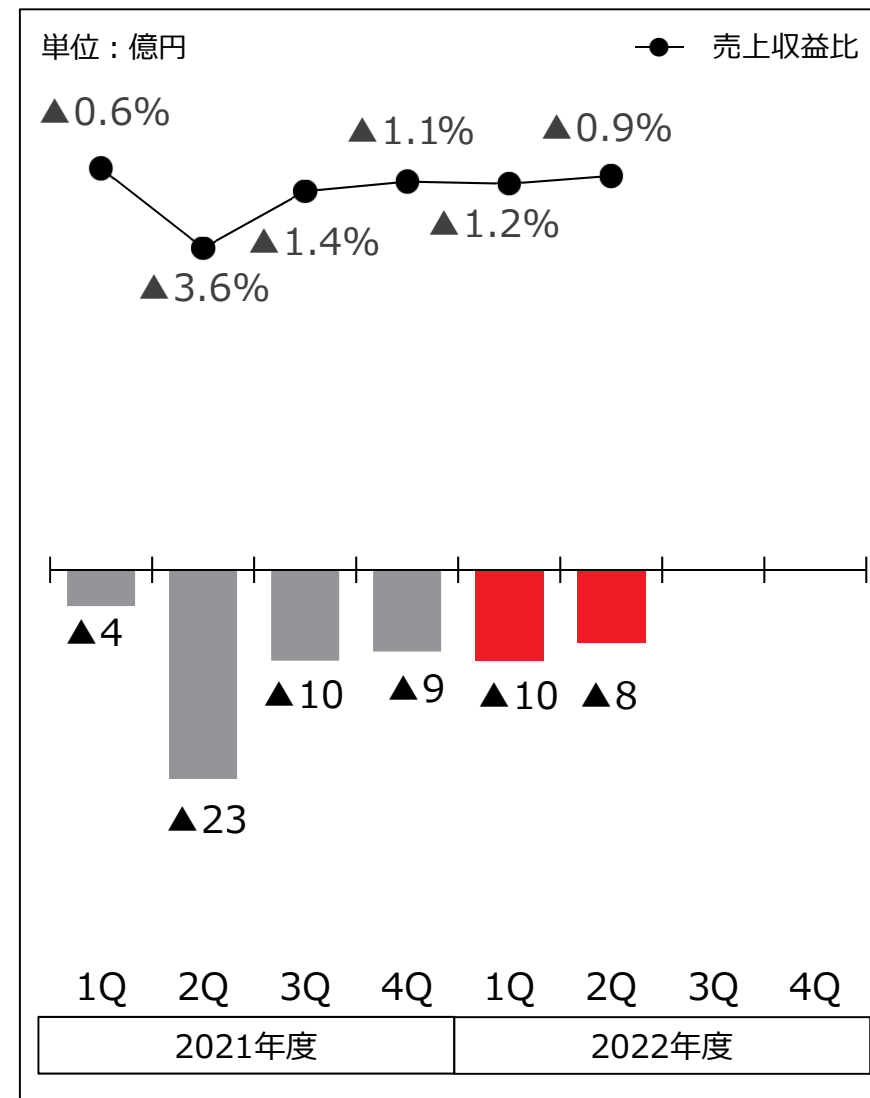


4-4) 業績推移 – 北米

売上収益

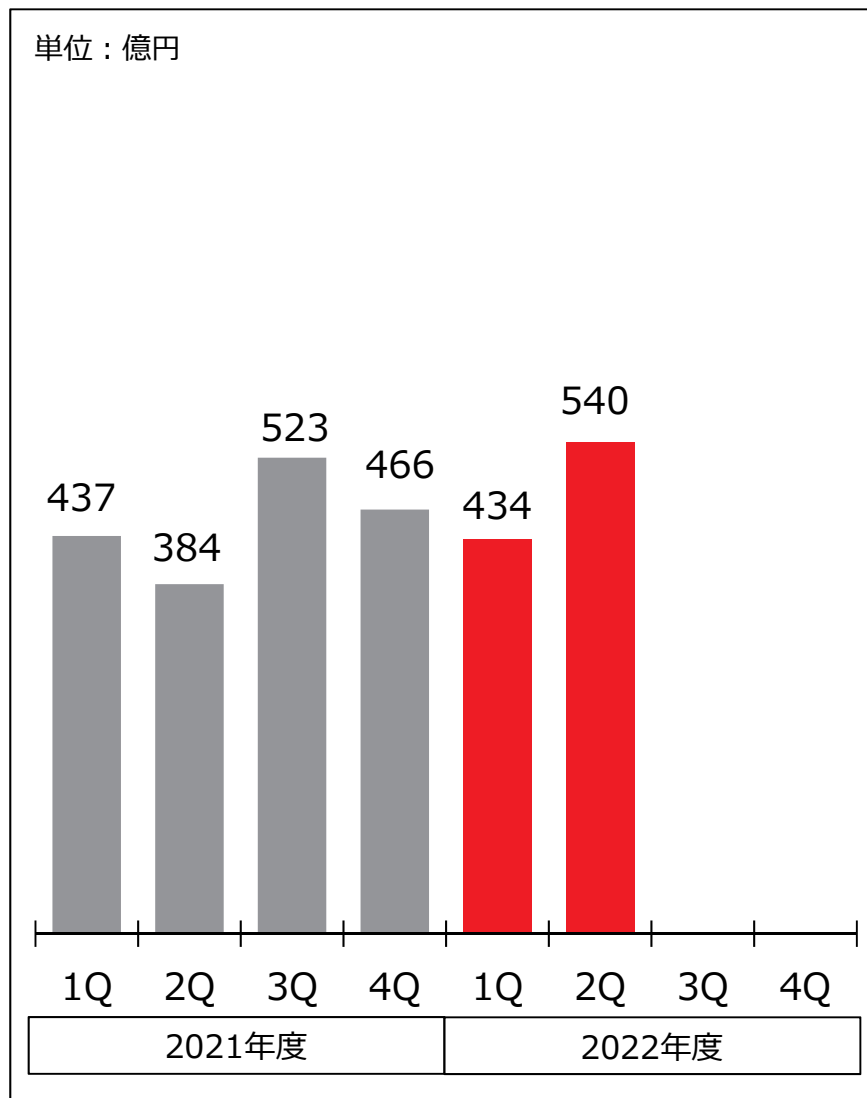


事業利益

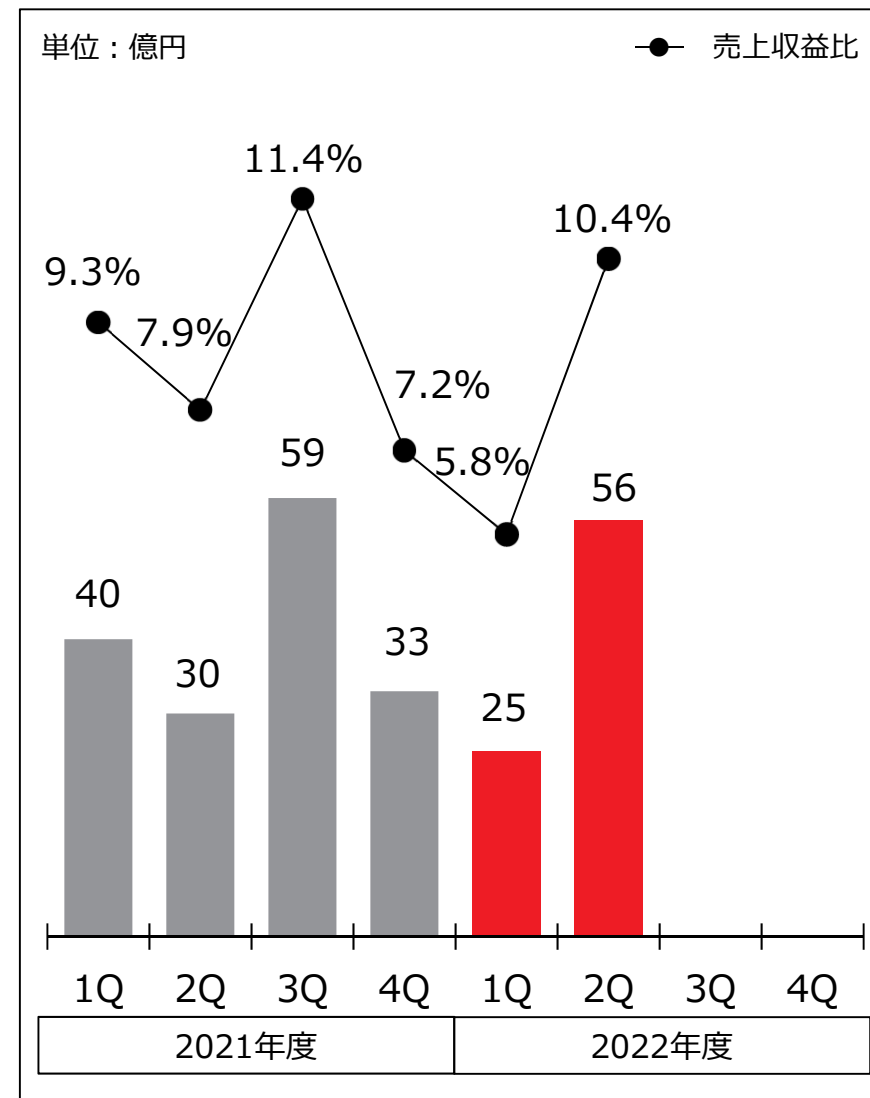


4-4) 業績推移 - 中国

売上収益



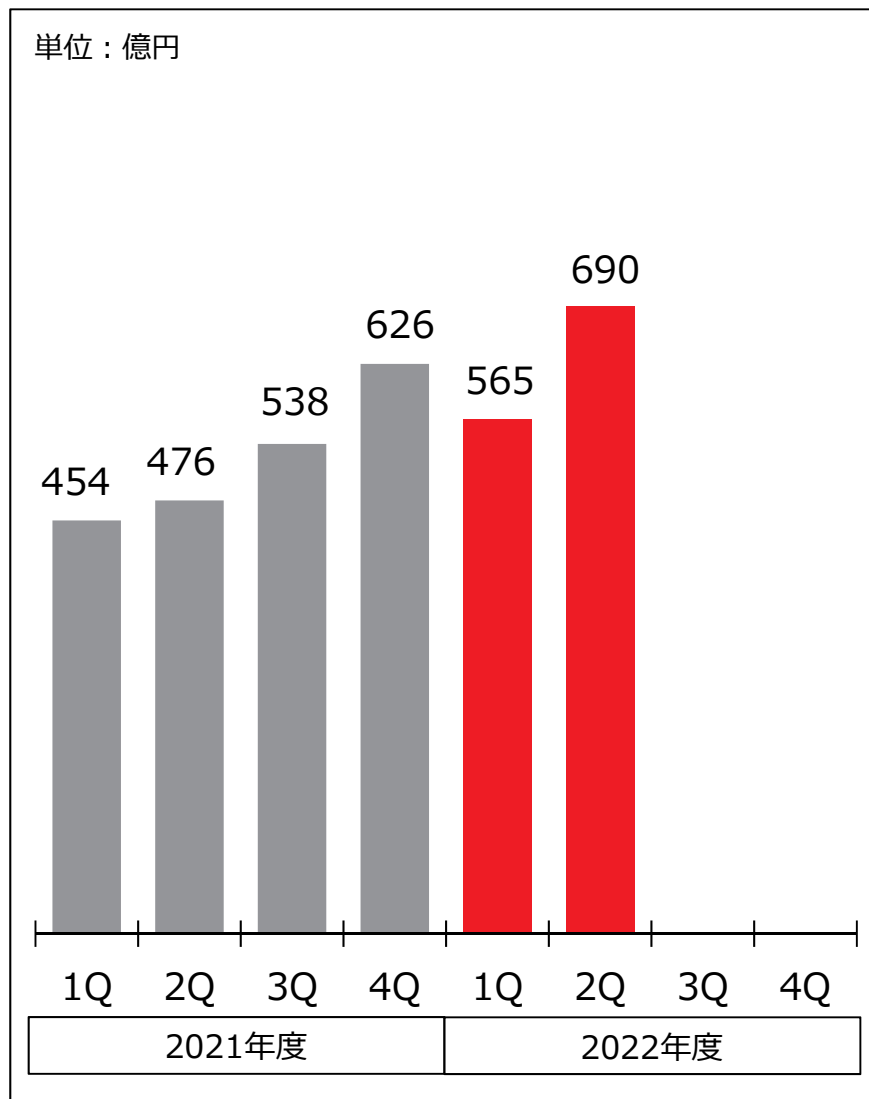
事業利益



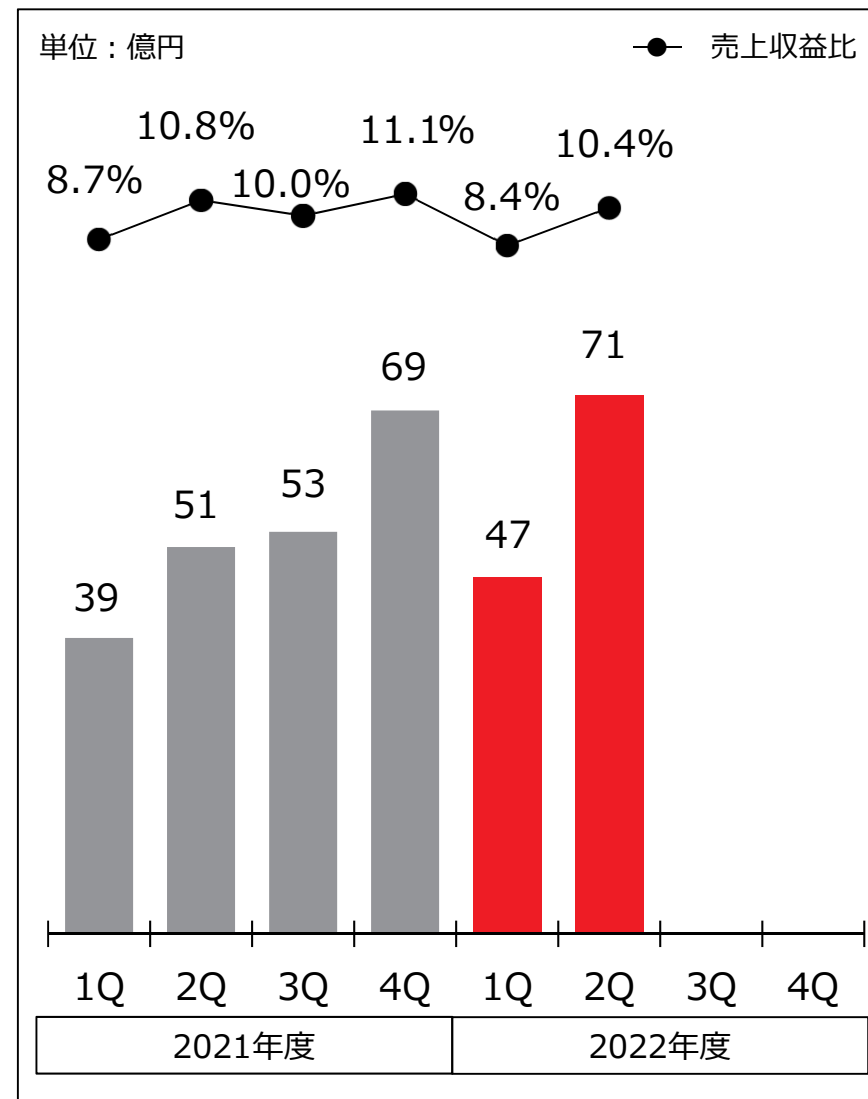
4-4) 業績推移 – アジア他



売上収益



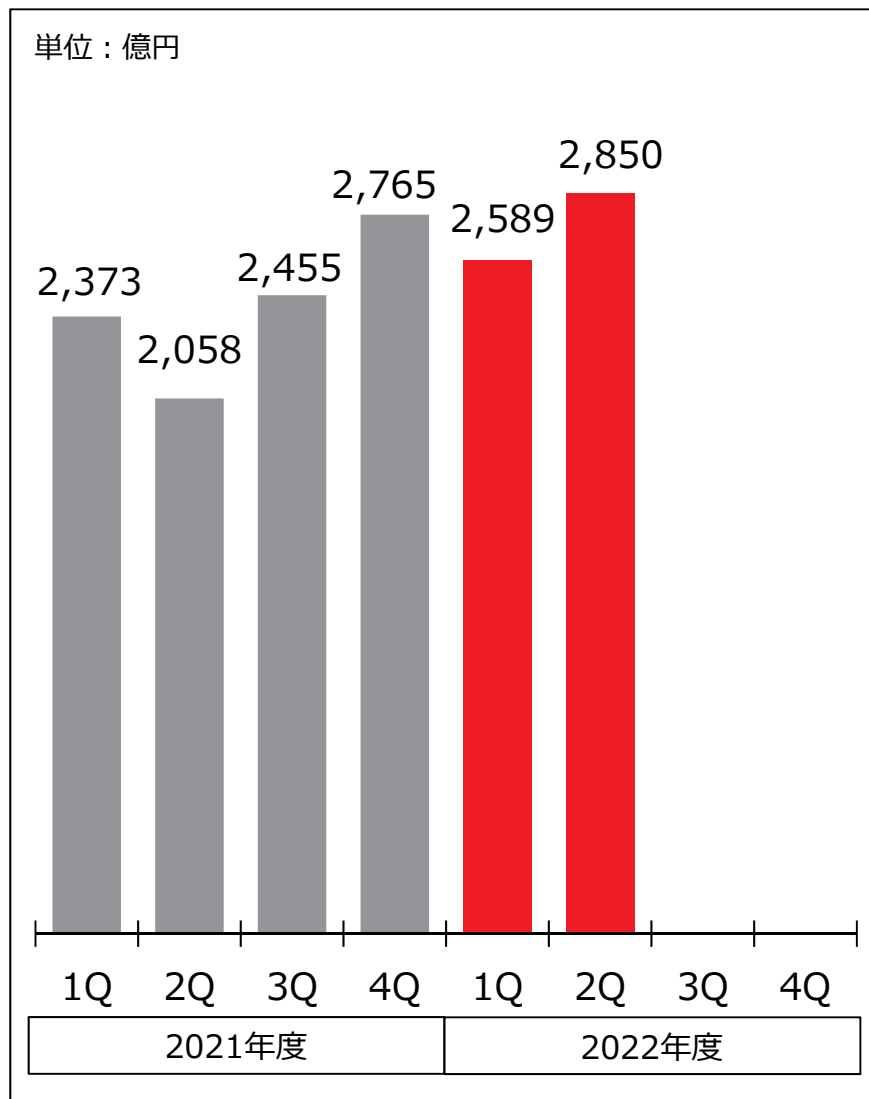
事業利益



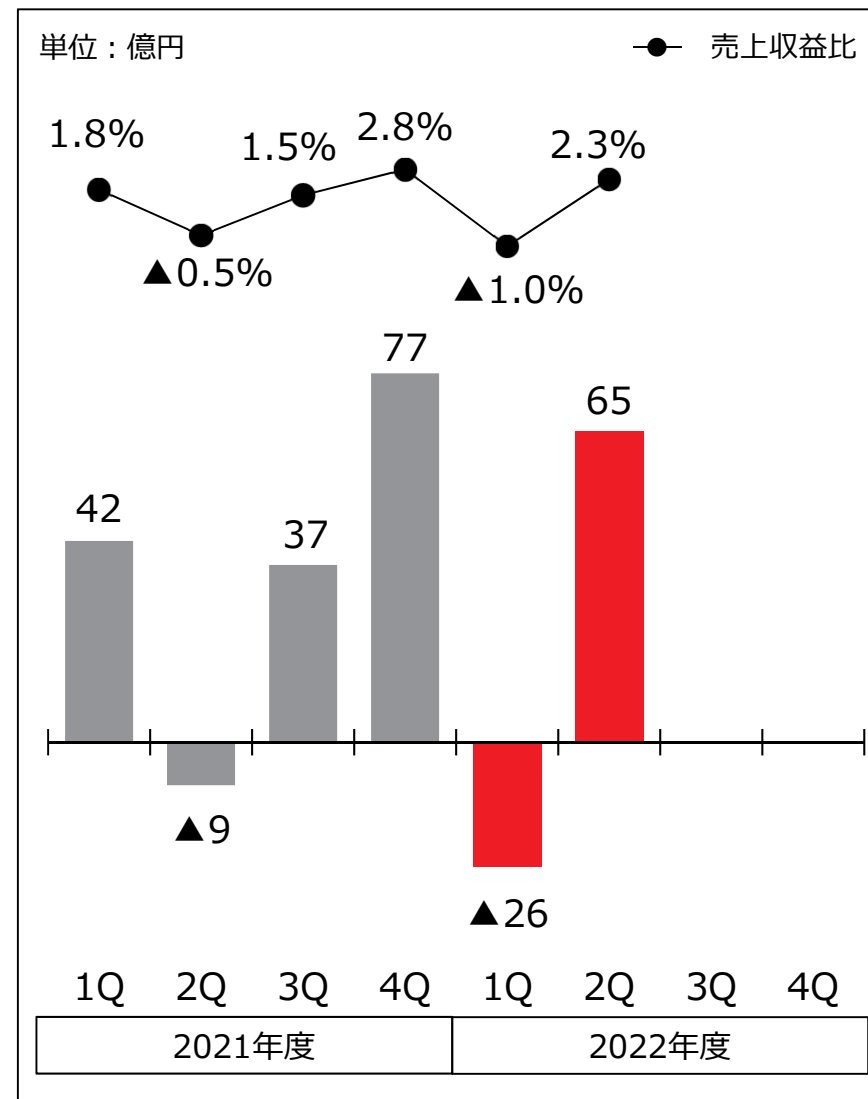
4-4) 業績推移 – 自動車 (ステアリング + 駆動)



売上収益



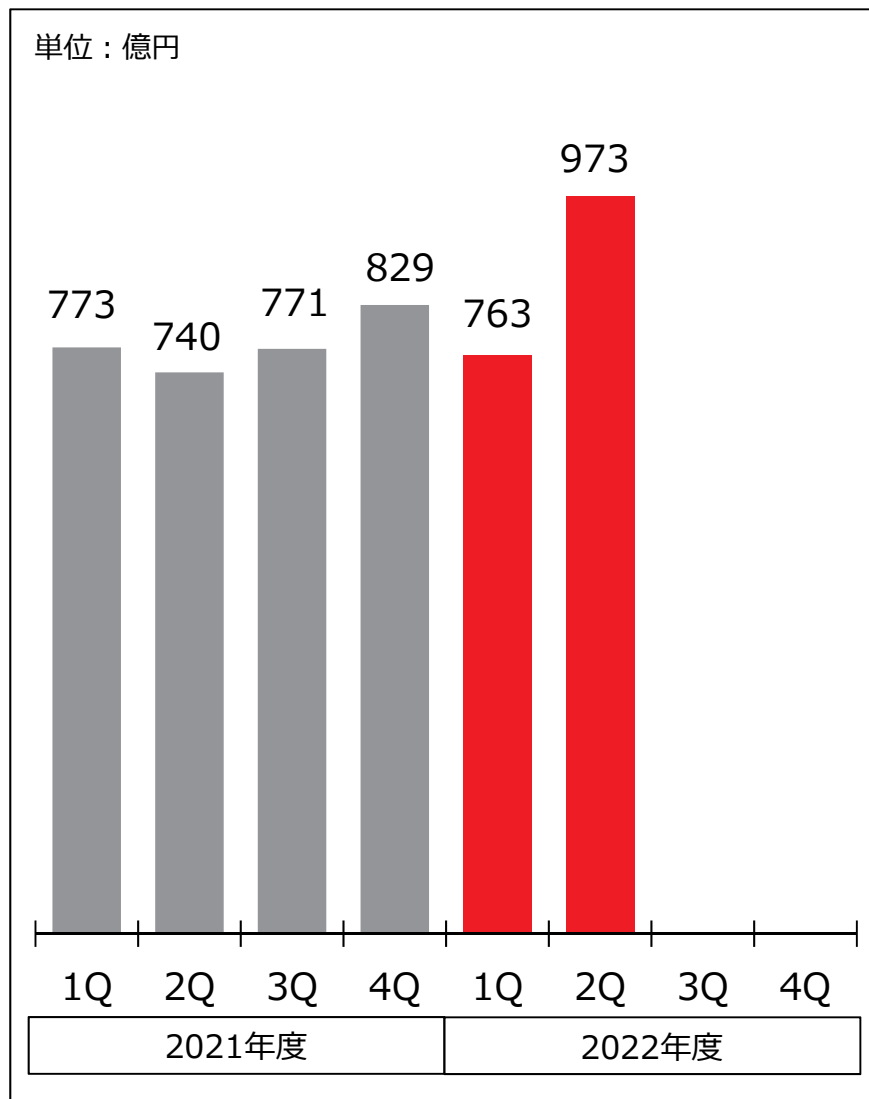
事業利益



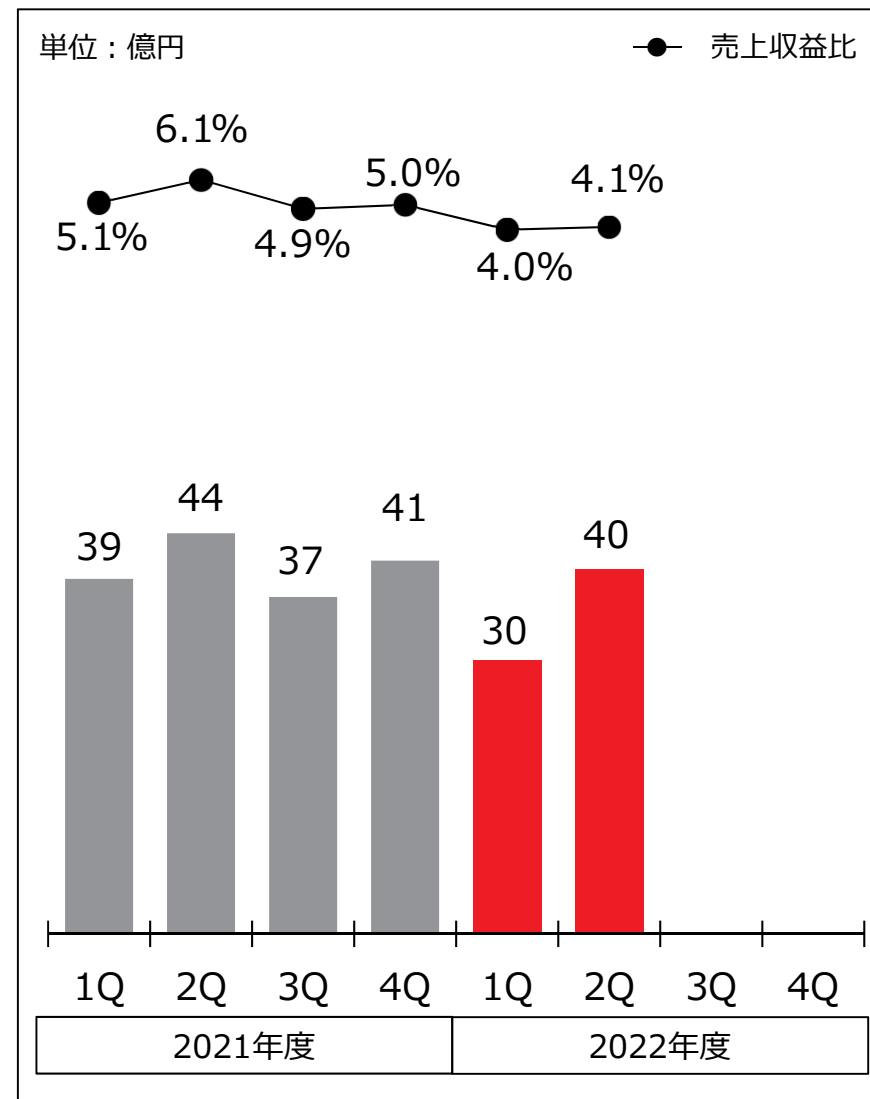
4-4) 業績推移 – 産機・軸受



売上収益



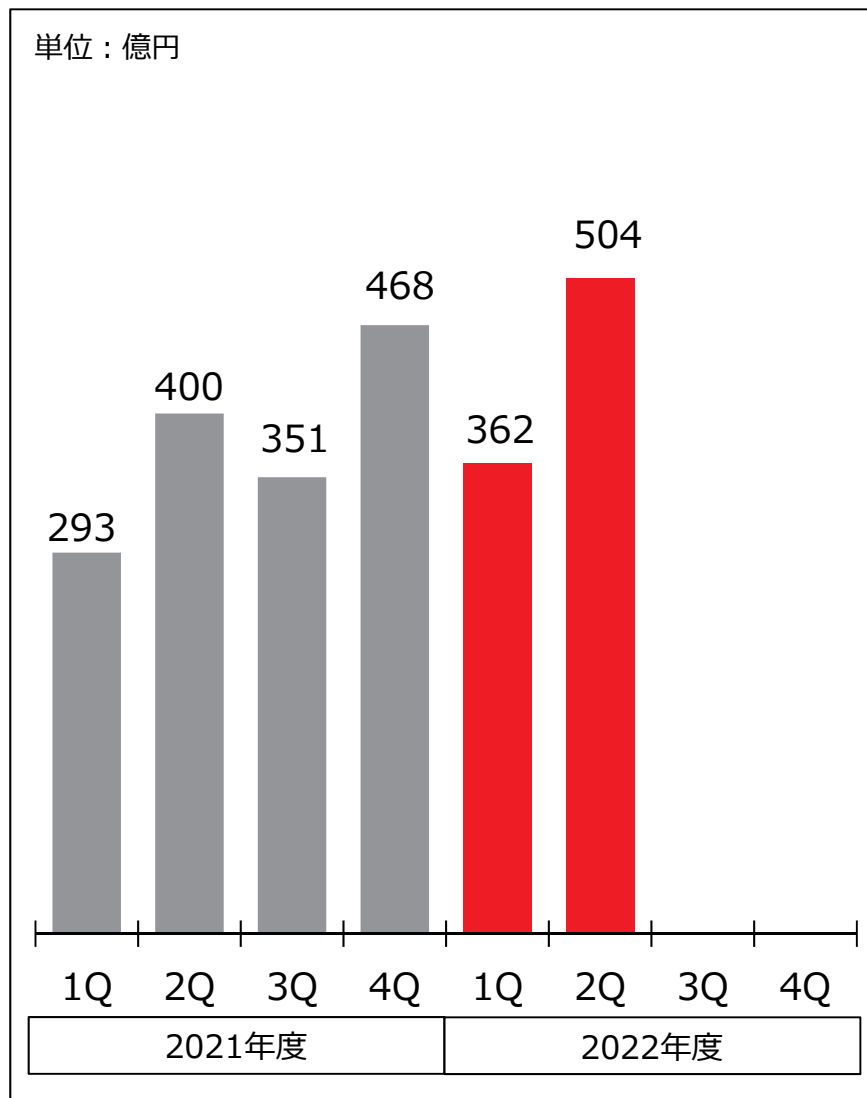
事業利益



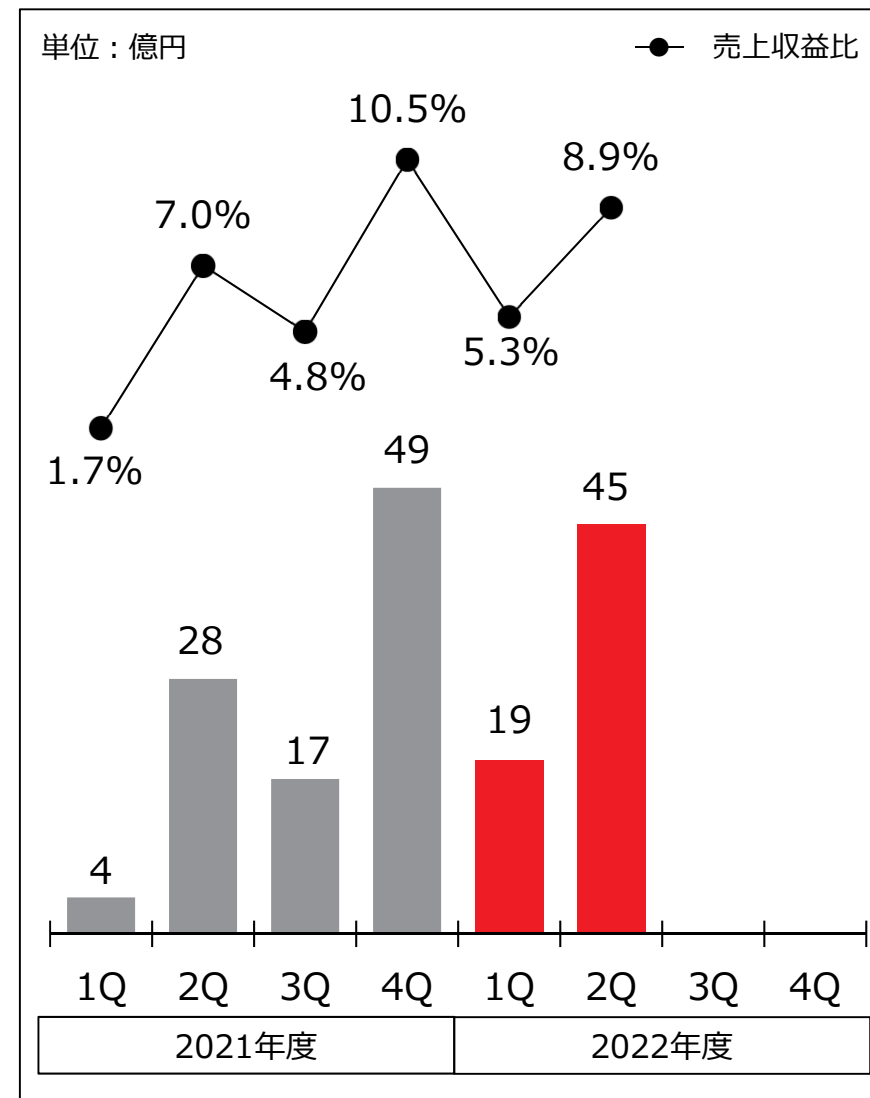
4-4) 業績推移－工作機械（工作機械＋その他）



売上収益



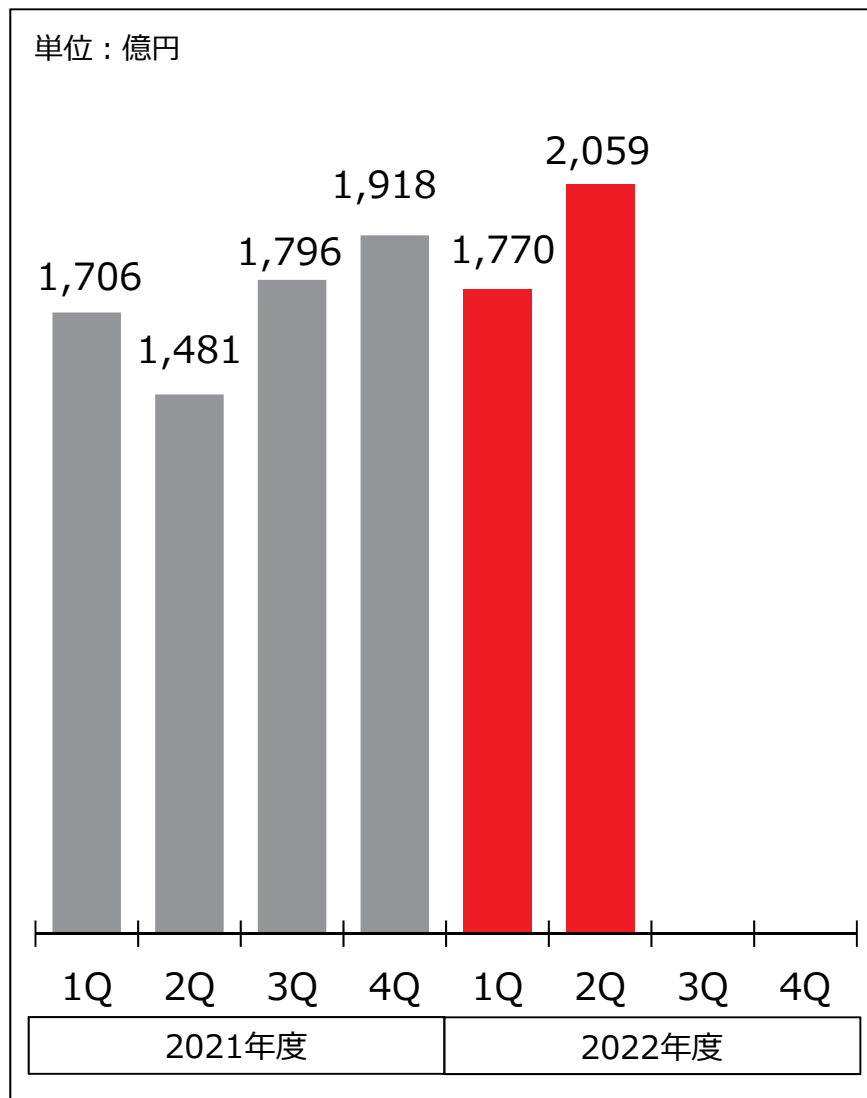
事業利益



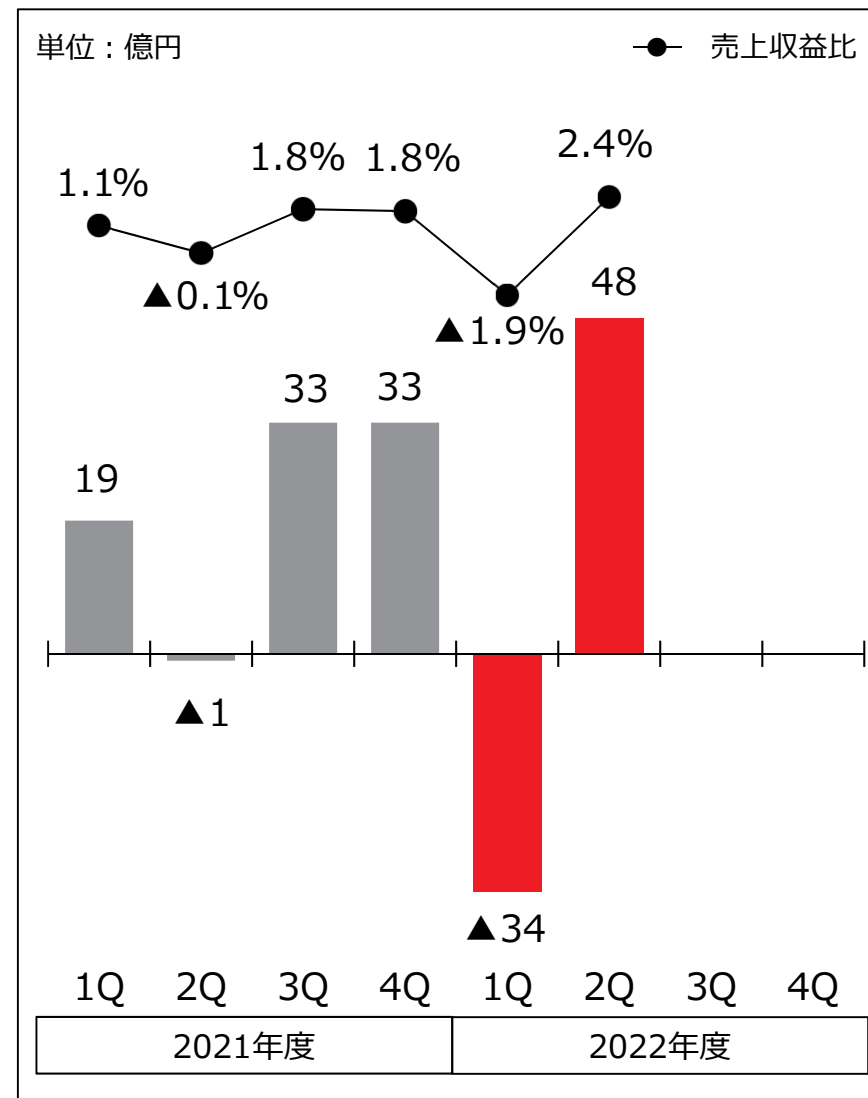
4-4) 業績推移 – ステアリング



売上収益



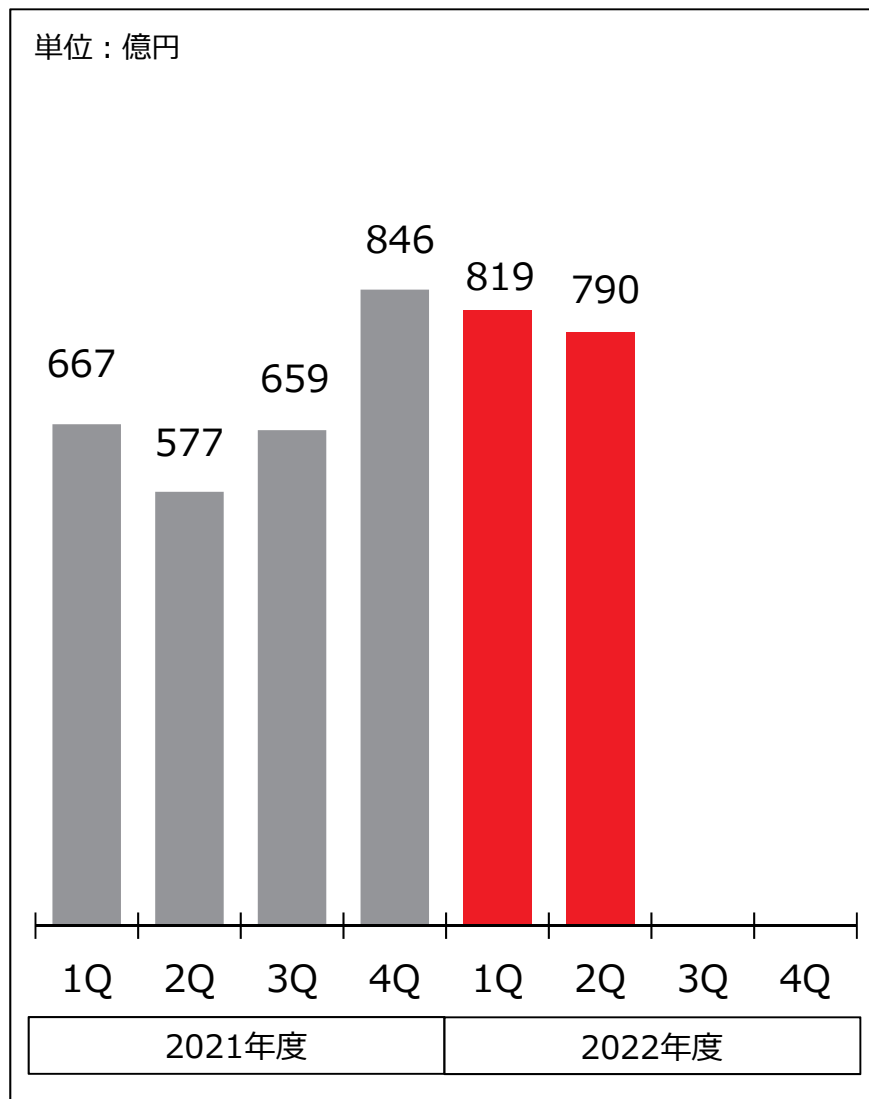
事業利益



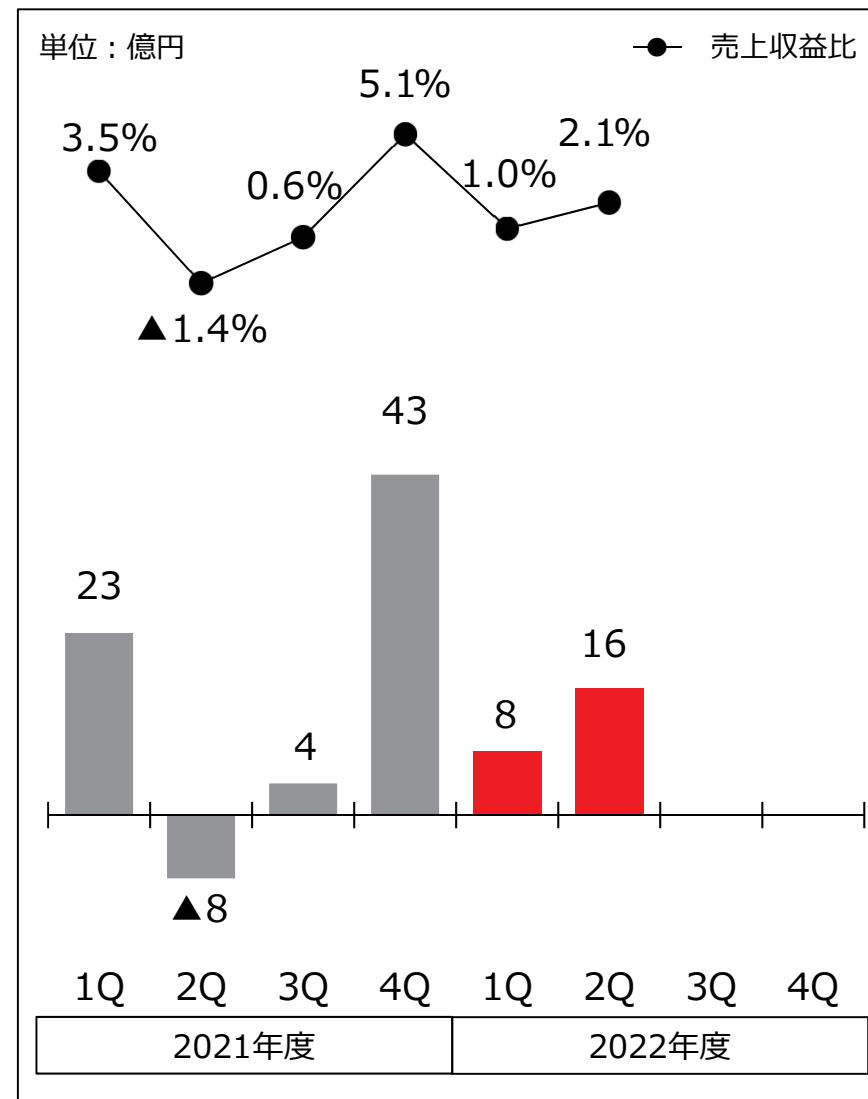
4-4) 業績推移－駆動



売上収益



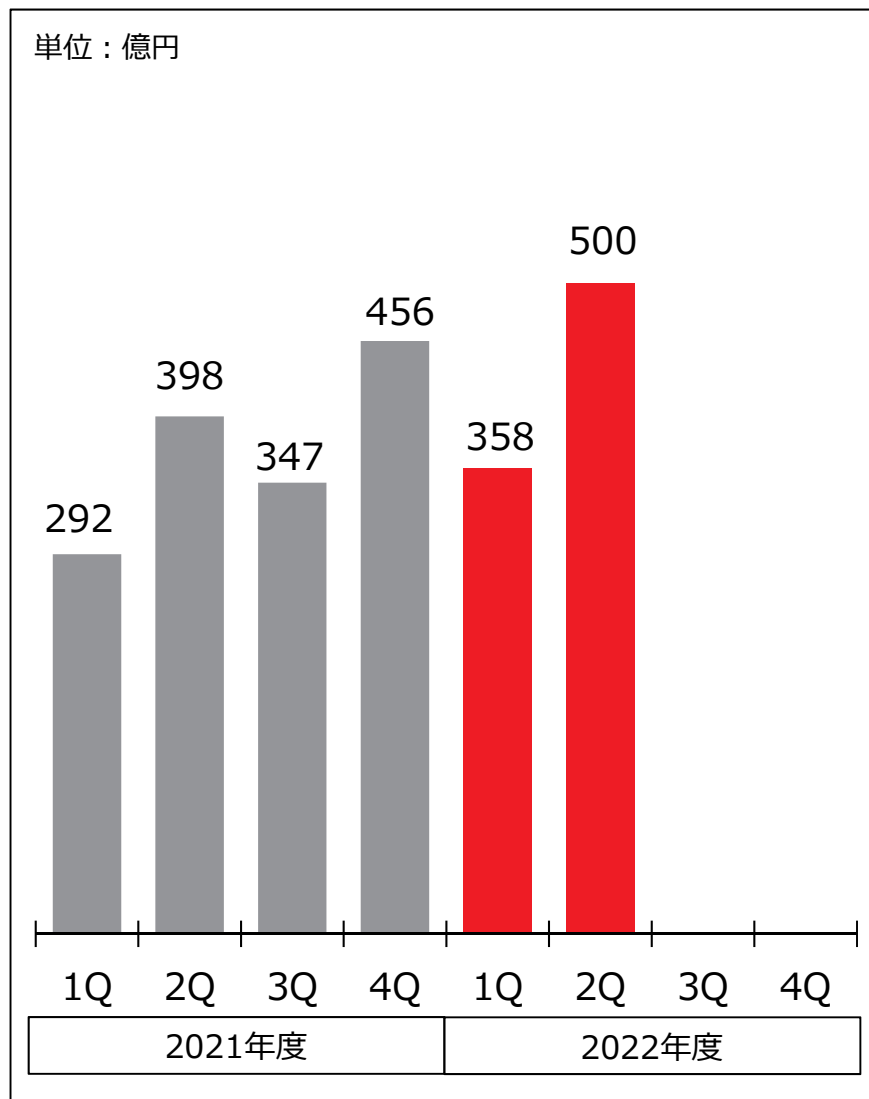
事業利益



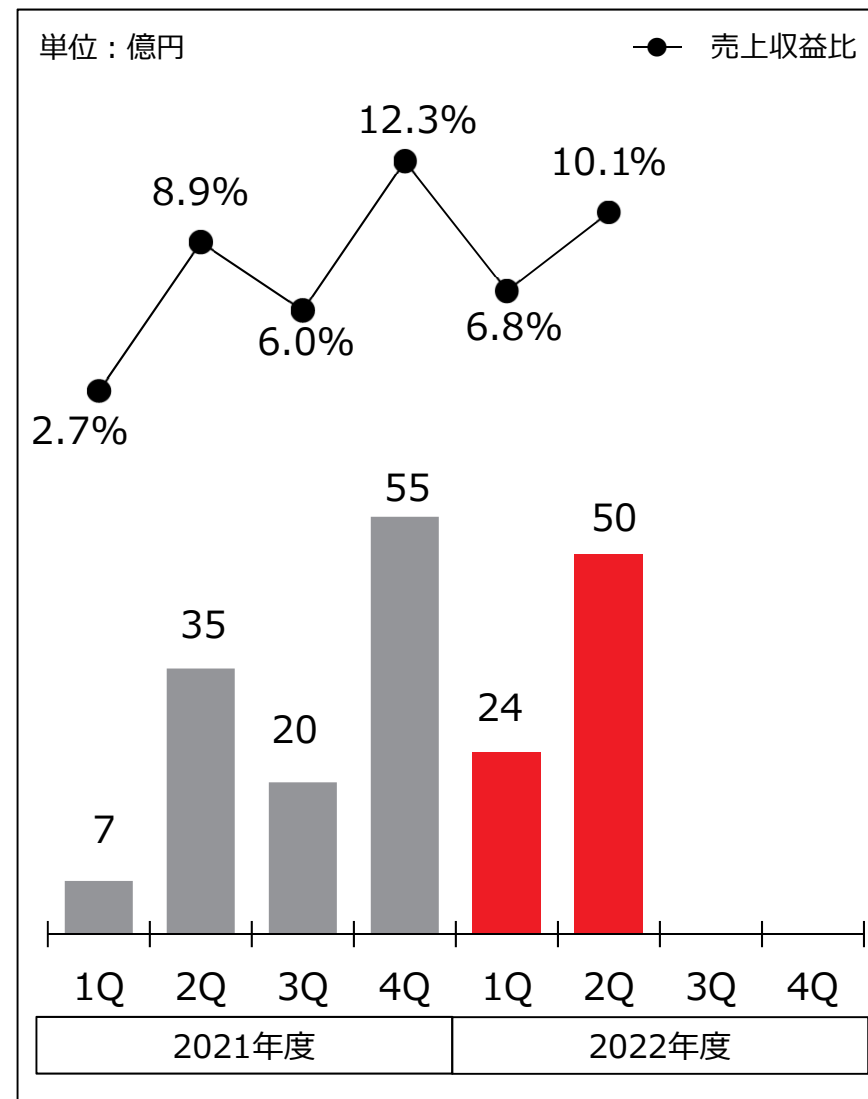
4-4) 業績推移 – 工作機械 (その他事業除く)



売上収益



事業利益

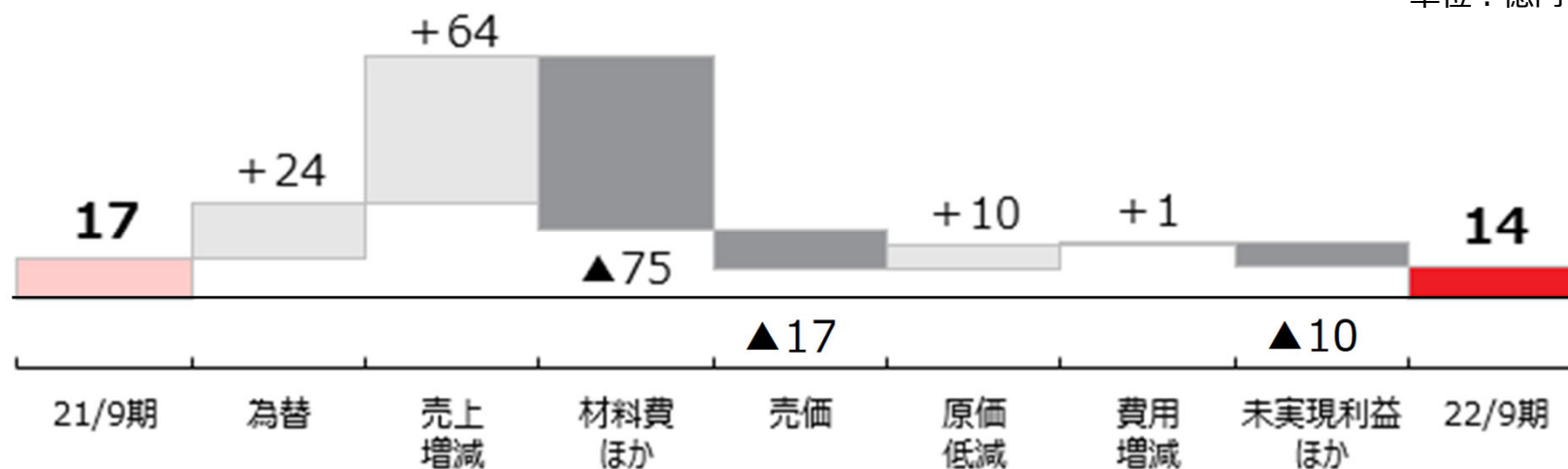


4-5) 事業利益増減分析－事業別 (ステアリング／駆動)



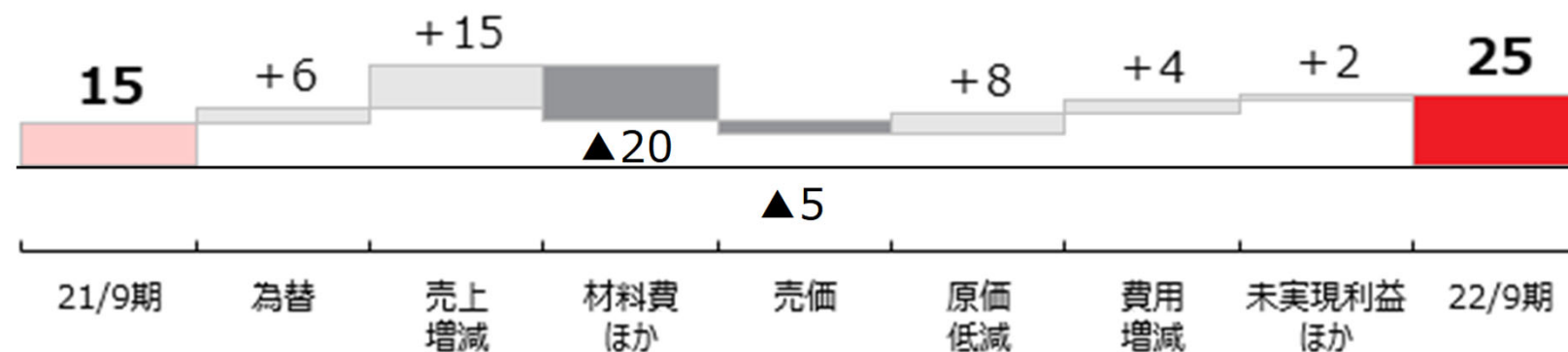
単位：億円

ステアリング



単位：億円

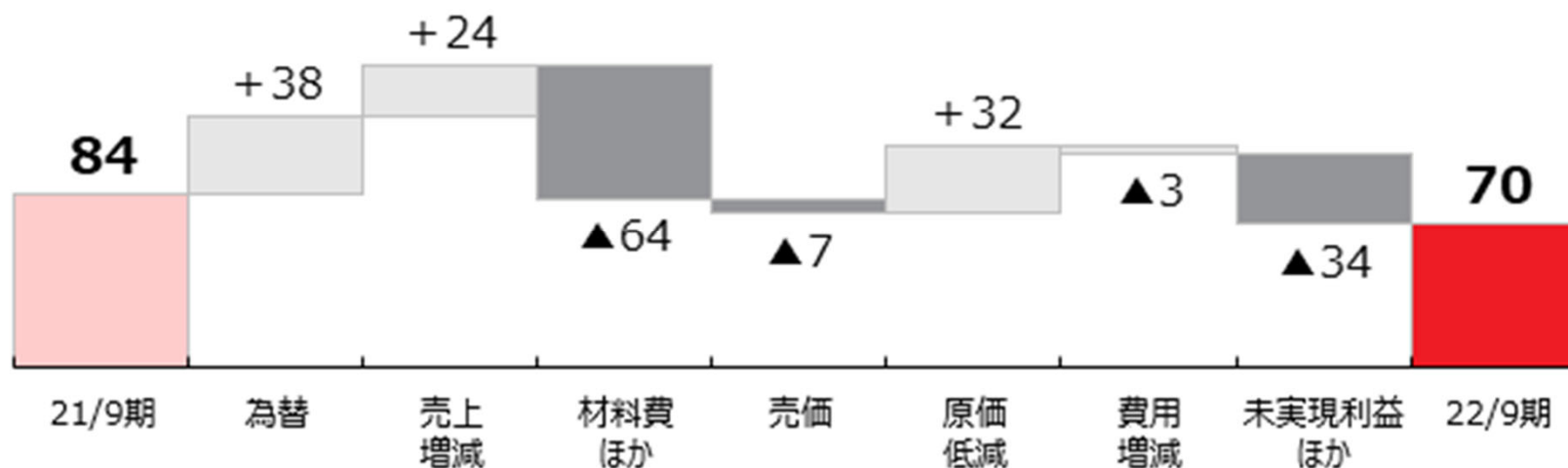
駆動



4-5) 事業利益増減分析－事業別 (産機・軸受/工作機械) JTEKT

単位：億円

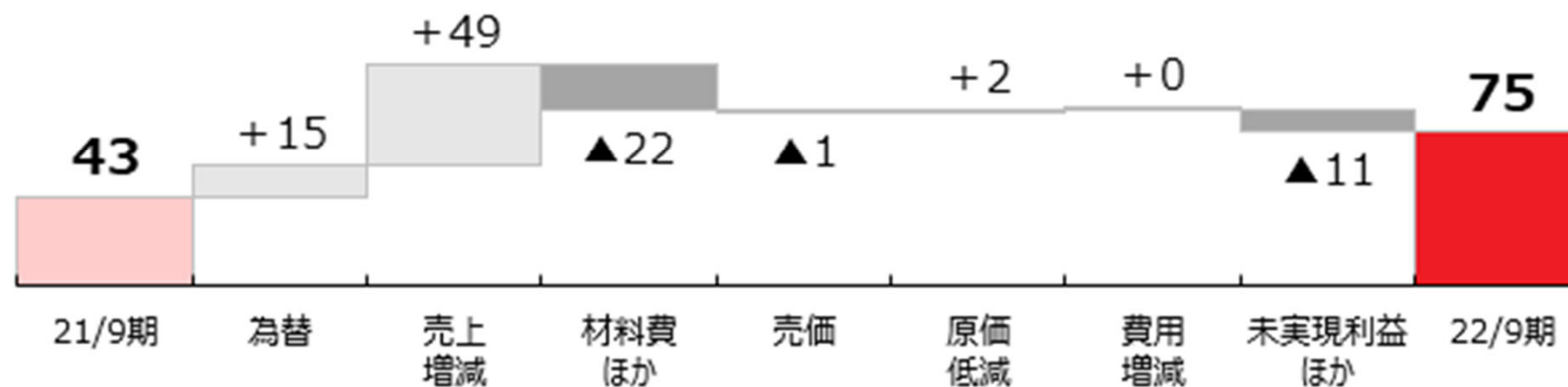
産機・軸受



単位：億円

※ その他事業除く

工作機械



4-6) 業績比較－予想 (地域別)



単位：億円

	地域	22/3期	23/3期	増減	為替	23/3期 為替除く	実質増減		
売上収益	日本	5,824	6,200	+375	+6.4%	-	6,200	+375	+6.4%
	欧州	1,603	2,010	+406	+25.3%	+100	1,910	+306	+19.1%
	北米	2,947	3,940	+992	+33.7%	+640	3,300	+352	+12.0%
	中国	1,812	2,200	+387	+21.4%	+215	1,985	+172	+9.5%
	アジア他	2,095	2,650	+554	+26.4%	+245	2,405	+309	+14.8%
	合計	14,284	17,000	+2,715	+19.0%	+1,200	15,800	+1,515	+10.6%
事業利益	日本	203	335	+131	+65.0%	+136	199	▲ 4	▲ 2.0%
	欧州	▲ 96	▲ 100	▲ 3	-%	▲ 5	▲ 95	+1	-%
	北米	▲ 47	10	+57	-%	+6	4	+51	-%
	中国	164	175	+10	+6.5%	+16	159	▲ 5	▲ 3.2%
	アジア他	214	250	+35	+16.6%	+22	228	+13	+6.4%
	消去	▲ 14	▲ 70	▲ 55	-%	-	▲ 70	▲ 55	-%
	合計	423	600	+176	+41.7%	+175	425	+1	+0.4%

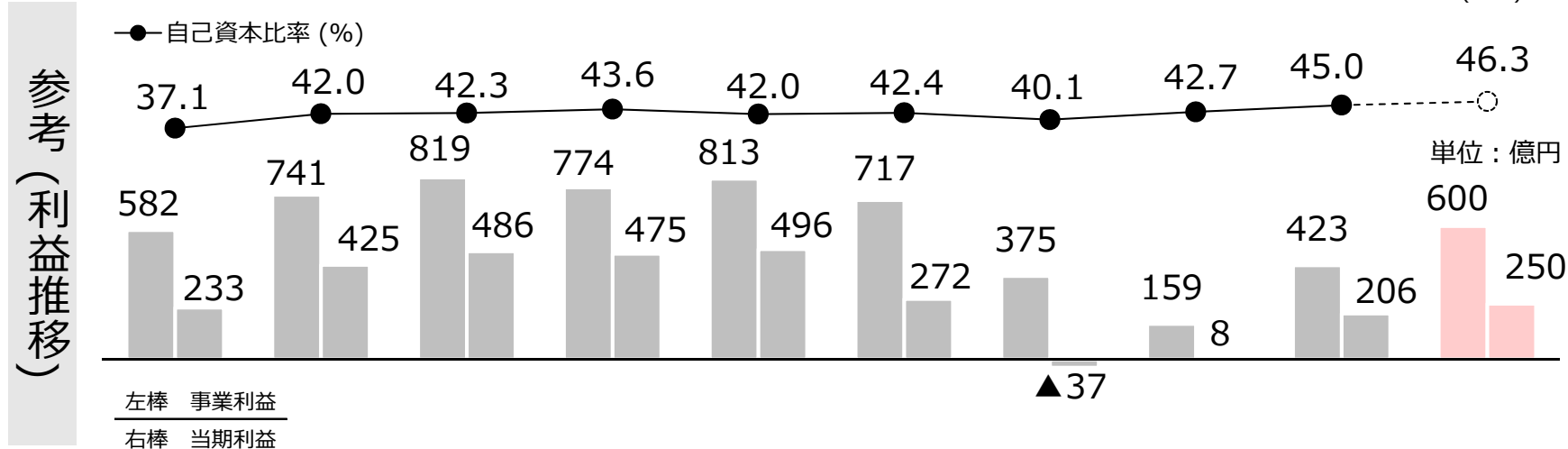
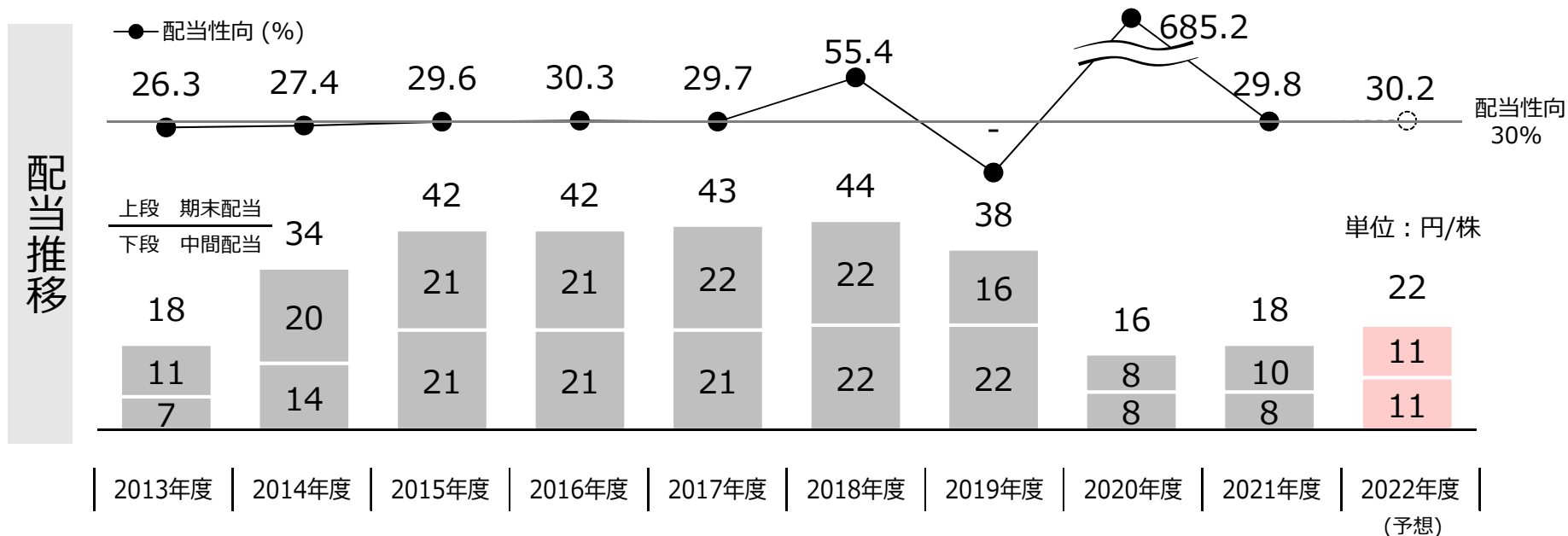
4-6) 業績比較－予想 (事業別)

JTEKT

単位：億円

事業		22/3期	23/3期	増減		為替	23/3期 為替除く	実質増減	
売上 収益	ステアリング	6,903	8,115	+1,211	+17.6%	+655	7,460	+556	+8.1%
	駆動	2,750	3,500	+749	+27.3%	+155	3,345	+594	+21.6%
	自動車	9,653	11,615	+1,961	+20.3%	+810	10,805	+1,151	+11.9%
	産機・軸受	3,115	3,490	+374	+12.0%	+225	3,265	+149	+4.8%
	工作機械	1,494	1,875	+380	+25.5%	+165	1,710	+215	+14.4%
	その他	20	20	▲0	▲1.2%	+0	20	▲0	▲1.2%
	工作機械	1,514	1,895	+380	+25.1%	+165	1,730	+215	+14.2%
	合計	14,284	17,000	+2,715	+19.0%	+1,200	15,800	+1,515	+10.6%
事業 利益	ステアリング	84	175	+90	+106.2%	+72	103	+18	+21.4%
	駆動	62	105	+42	+66.9%	+16	89	+26	+41.5%
	自動車	147	280	+132	+89.5%	+88	192	+44	+29.9%
	産機・軸受	163	175	+11	+6.8%	+71	104	▲59	▲36.6%
	工作機械	120	165	+44	+37.4%	+16	149	+28	+24.1%
	その他	▲20	▲20	+0	-%	-	▲20	+0	-%
	工作機械	99	145	+45	+45.9%	+16	129	+29	+29.8%
	消去	12	0	▲12	▲100.0%	-	0	▲12	▲100.0%
合計	423	600	+176	+41.7%	+175	425	+1	+0.4%	

4-7) 配当推移





【将来見通しに関する注意事項】

本資料には、業績予想、将来予測に基づく計画、戦略の記述が含まれています。これらの将来予測には、リスクや不確定な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績は記載内容とは異なる可能性があります。